

平成 30 年度 事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、「労働者の地位、人格の向上を図り労働組合の健全な発展と民主的な労使関係の確立を助長する」ことを設立目的として、これまでに諸事業の円滑な推進に努めてきました。

平成 25 年 4 月 1 日に一般財団法人に移行後、平成 30 年度においても公益目的支出計画事業として府民や勤労者等のニーズを反映した大阪労働大学講座等を実施しました。

大阪府立労働センター（エル・おおさか）の指定管理業務については、第三期（平成 26 年 4 月から平成 31 年 3 月まで）の 5 年目の最終年次の平成 30 年度においても、当協会と大林ファシリティーズ(株)との共同事業体「エル・プラン」が、施設利用者の増加やサービスの向上に努めました。

また、労働センター南館については、建物所有者として、安定的な経営に努めるとともに、入居者に安全で快適な執務環境を提供し、建物の資産価値の維持・向上を図るために、平成 28 年度に策定した長期修繕計画をに基づき大規模修繕を実施しました。

さらに、人材開発事業については、就労支援機関等と連携を図り、若年者等の雇用の安定、就業促進、人材育成に努めました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、前期と後期の 2 期に分けて大阪府と共催で実施しました。

【実施団体】

主 催 大阪府、(一財)大阪労働協会
後 援 日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一社)大阪労働者福祉協議会、
大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会

【前期講座】

実施期間 平成 30 年 6 月 12 日（火）～ 平成 30 年 9 月 7 日（金）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
講座回数 20 回
実施場所 エル・おおさか本館 6 階 大会議室
受講者数 個人 77 人、2 団体
終了者数 65 人、2 団体（14 回以上出席者）

【後期講座】

実施期間 平成 30 年 10 月 15 日（月）～ 平成 31 年 1 月 29 日（火）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
講座回数 21 回
(21 回目（平成 31 年 1 月 29 日（火））に労働経済分野のシンポジウム「働き方改革をどう考えるか」を実施)
実施場所 エル・おおさか本館 6 階 大会議室（シンポジウムは南館 5 階南ホール）
受講者数 個人 80 人、1 団体

終了者数 56 人、1 団体（14 回以上出席者）
前後期を通じた修了者数 35 人

2 労働保険・社会保険実務講座

企業で新しく人事労務を担当する人や労働組合員等対象に、労働保険・社会保険制度や入社から退職までの各種手続き、給付等を基礎から学ぶ講座を 2 回（各 2 日間）実施しました。

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門（昼）】

実施日 平成 30 年 7 月 26 日（木）、27 日（金）
午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分
実施場所 エル・おおさか本館 5 階 視聴覚室
受講者数 延べ 110 人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門（夜）】

実施日 平成 30 年 11 月 27 日（火）、28 日（水）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 45 分
実施場所 エル・おおさか本館 5 階 視聴覚室
受講者数 延べ 87 人

3 労働法基礎講座

企業人事労務担当者や労働組合員を対象に、労働契約、就業規則、労働時間、賃金、労働災害、非正規雇用等について、知識習得の講座として 2 回（各 4 日間）実施しました。

【労働法基礎講座Ⅰ】

実施日 平成 30 年 9 月 25 日（火）、26 日（水）、10 月 2 日（火）、3 日（水）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
実施場所 エル・おおさか本館 7 階 709 号室
受講者数 延べ 187 人

【労働法基礎講座Ⅱ】

実施日 平成 31 年 2 月 5 日（火）、7 日（木）、12 日（火）、14 日（木）
午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分
実施場所 エル・おおさか本館 7 階 709 号室
受講者数 延べ 145 人

Ⅱ その他事業

1 大阪府立労働センター（エル・おおさか）管理運営事業

平成 30 年度は指定管理第 3 期の最終年度として、引き続き一般財団法人大阪労働協会と大林ファシリティーズ株式会社に構成する共同事業体「エル・プラン」が、大阪府立労働センターの指定管理者として運営を行いました。運営にあたっては、労働センター条例等に基づき、公の施設である会議室やエル・シアター、集会室、ギャラリー等の安定した運営を行うため積極的に広報し、利用者の確保と良好な施設の

維持に努めました。

また、大阪府立労働センターの円滑な指定管理業務を行うため、共同事業体エル・プラン運営委員会規則に則り、運営委員会を6月26日に開催し、平成29年度事業報告・決算等について審議を行いました。

なお、平成31年度から5年間で予定とする次期指定管理者の公募が行われましたが、一般財団法人大阪労働協会、大林ファシリティーズ株式会社及び株式会社コングレで新たに共同事業体「エル・プロジェクト」を構成し、提案応募を行った結果、12月19日の大阪府議会において、指定管理者として選定されました。平成31年3月26日には、共同事業体「エル・プロジェクト」として運営委員会を開催し、大阪府との基本協定等の締結や平成31年度の事業計画、予算について審議を行いました。

(1) 施設の運営

① 利用者の増加を図るための取組

- ▶運営管理に携わるスタッフ全員が営業担当として利用促進活動を行うとともに、キャッチフレーズやイメージキャラクター（エルちゃん）を配した団扇や卓上カレンダー等の販促グッズを作成、活用して利用促進活動を行いました。
- ▶モニタリング調査、アンケート調査の調査項目に利用要因項目を設定し、年度比較を行い、その分析をしながら次の営業戦略に結びました。
- ▶国内最大の会議室検索サイト「会議室ドットコム」と契約して、多くの方がエル・おおさかのホームページを検索できるようにすることで、利用増加を図りました。
- ▶平成31年1月4日（金）の年初利用受付開始日の抽選時に、福袋（マスク、使い捨てカイロ、お菓子、卓上カレンダー等）を利用者に提供しました。
- ▶当協会の人材開発部が実施する合同企業説明会等に出展する企業に対して、エル・おおさかの利用案内を配付し、利用促進に努めました。

◇会議室

- ▶平成30年12月末に会議室の専用チラシを作成し、業界団体や企業等にチラシを郵送するなどし、利用増加に努めました。
- ▶利用区分の30分前に鍵を引き渡すアーリー・チェックイン、後の利用に支障のない範囲で最大15分延長するレイト・チェックアウトを引き続き導入して、利用者に準備時間や後片付けの時間を提供しました。
- ▶夜間の新規の利用者には、貸出備品、ペットボトル茶等を提供するブレイクタイムキャンペーンを実施しました。（実施期間：平成30年11月1日～12月28日）
- ▶夜間利用の直前の申込者には、貸出備品等を提供する直前利用キャンペーンを引き続き実施しました。（実施期間：平成30年11月1日～12月28日）
- ▶夜間に空いている会議室を共同事業体「エル・プラン」が借り上げて、会員制の自習室として、勤労者や一般府民に仕事帰りの読書、資格試験勉強等の利用に供しました。（平成31年3月31日

現在：会員数 616 名)

- ▶利用者からの要望により、総会・研修会場等の会場設営を有料で実施しました。
- ▶地域貢献の一環として、地元の自治会やマンションの管理組合等の利用の際には、貸出備品 1 点の無料サービスとお茶のペットボトル提供サービスを行いました。
(実施期間：通年)
- ▶障がい者支援に関する事業所等のご利用特典として、その夜間利用にあたっては、貸出備品を 1 点無料で貸し出すサービスを行いました。(実施期間：平成 31 年 1 月 4 日～3 月 31 日)

◇エル・シアター

- ▶専用のリーフレットやご利用案内により利用促進を行いました。
- ▶これまでの利用実績を分析し、利用が見込まれる業種の団体や業界団体の傘下企業に DM 送付を行い、需要喚起が伝わっているか検証を行いました。
- ▶利用時間区分の前後に利用がない場合に 1 時間の延長を行う制度を継続し、より利用しやすい施設としました。

◇集会室

- ▶松の間に机・椅子を常時設置して、自由な 2 時間単位で多目的に使用できるスペースとして提供し、利用者の利便を図りました。
- ▶松の間以外の集会室を会議室として利用する場合は、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後 1 時間を利用者に提供しました。
- ▶集会室を宴会場として利用する場合は、料理のセッティングや後片付けのための時間が必要なことから、前後 1 時間を準備・後片付けのための時間として利用者に提供しました。
- ▶集会室に就職説明会等のイベントの利用を誘致するため、レイアウト図を作成して会場設営を有料で行いました。

◇プチ・エル

- ▶利用者のリピーター化を図るために、ポイント（メンバーズカード）制度を継続し、利用者サービスを行いました。
- ▶新規利用者を開拓するために、(一社) 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）の会報誌送付時にプチ・エルのチラシの封入を依頼し、近畿のピアノ指導者の手元にプチ・エルの案内を送付しました。この効果検証を新規利用者アンケートで行いました。(送付数：129 人)
- ▶プチ・エルに常設しているフルコンサートピアノ スタインウェイ D274 を広く周知するために試弾会を実施しました。(開催日：平成 30 年 7 月 21 日、参加者数：10 組)

◇ギャラリー

- ▶新規利用者の開拓のために、盛り花を提供する紹介制度を引き続き実施しました。
- ▶ギャラリーの利用後には礼状を送付するとともに、次回の利用案内をするなど利用者とのコミュニケーションを図りました。
- ▶カルチャーセンターに定期的に情報誌「エルちゃん☆通信」を送付して、絵画教室、書道教室等に周知を図りました。
- ▶ギャラリー利用者が作品を搬入・展示する際に、利用に対するお礼と備品等の使用方法を丁寧に説明することを徹底し、利用者に対するサービス向上に努めました。
- ▶ギャラリー利用者が会場での茶菓子等を購入される際に、南館1階ミニコンビニで利用できる商品券の配布を行うなどサービス向上に努めました。

◇情報発信

- ▶エル・おおさか公式 facebook により、施設や各種事業の情報を発信して広報に努めました。
- ▶セミナー受講者等にメルマガ配信の「エル・ふれんど」に登録していただき、毎月メールマガジンを配信して、利用者開拓を図りました。
- ▶共同事業体「エル・プラン」が開催する各種事業やセミナー・講座をホームページに掲載して最新の情報を提供するなど、ホームページを活用した情報発信を行いました。
- ▶ホームページで会議室等を検索するときに、「エル・おおさか」が上位に表示されるようページタイトルのキーワードを定期的に見直すなどホームページを改善しました。
- ▶ホームページに「やさしい日本語での道案内」「写真での道案内」を掲載し、来館者にわかりやすい道案内を行いました。
- ▶エル・おおさかの情報紙「エルちゃん☆通信」を毎月発行し、館内に配架するとともに府内の団体や関係機関、公共施設に送付し情報提供を行いました。
- ▶「広報・PRに関する検討会」を開催して、事業や施設の効率的・効果的な広報・PR方法について引き続き検討を行いました。（8月を除き毎月開催）

② サービスの向上を図るための取組

- ▶平成22年6月に設置した第1期労働センター指定管理における労働センターの運営等に係る評価を外部の有識者による評価委員会に委ねました。以降これを毎年1回開催し、平成30年度においても7月26日に開催し、事業内容や財政面の評価に加え、満足度調査の結果分析や利用者から寄せられた意見・要望等についても委員会に諮りました。

また、平成30年度は、労働センターの第4期指定管理の企画提案が行われたため、共同事業体「エル・プラン」が、第3期大阪府立労働センターの指定管理者として取り組んできた実施内容について

総合評価をいただき、外部評価委員会のコメントとして企画提案書に記載しました。

- ▶平成 26 年度に設置した「事業進捗・検証委員会」を引き続き開催し、共同事業体「エル・プラン」として提案した各種取組が計画的・効果的に実施されているか進捗状況の確認をしました。（8 月を除き毎月開催）
- ▶利用者モニター制度を引き続き実施し、リピーターの利用者に施設運営の取り組みについての評価と意見・要望を聞き取り、運営に反映しました。
- ▶利用者満足度調査を年 1 回実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果についてはホームページに掲載しました。
- ▶公の施設のフロア各階に意見箱を設置し、寄せられた意見・要望には回答を行い、館内に掲示するとともにホームページに掲載しました。
- ▶会議室等の空室情報はリアルタイムで更新し、利用者に最新の情報を発信しました。
- ▶コピー複合機を引き続きワークステーションに設置し、コピーサービス・パソコン出力サービスを利用者に提供しました。
- ▶高齢者や障がい者の方が利用しやすい施設であることを PR するために、多目的トイレや車椅子、筆談ボード等の設置をホームページに掲載し、広報を行いました。
- ▶タブレット端末に、会議室やエル・シアターの写真・動画を取り込み、営業活動に活用しました。また、受付では遠方からの来館者や高齢者のために「乗換案内」や「地図」等のアプリをタブレット端末にインストールし案内するなど、きめ細かい利用者サービスに努めました。
- ▶利用者と接する機会の多い運営スタッフと管理スタッフによるスタッフ情報交換会議を毎月開催し、日頃気付いた事柄や直接利用者から寄せられた要望、意見を共有し、その対策・検討を行いました。（8 月を除き毎月開催）
- ▶受付業務担当者、警備、清掃、設備業務に従事しているスタッフを対象にした専門家による接遇マナー研修、高齢者・障がい者対応研修をそれぞれ年 1 回開催しました。高齢者・障がい者対応研修の後には、サービス介助基礎検定を受験して、対応の基礎を身に付けました。
- ▶職員による定期的な館内巡回・点検を行い、日常清掃では気がつかない室内床面、壁面、机や椅子の汚れの除去や机、椅子、車椅子等の備品等の不具合の調整等を実施しました。

③ その他の取組

- ▶スタッフ全員を対象とした研修を実施しています。

- ・ 高齢者・障がい者対応研修

実施日 平成 30 年 6 月 20 日（水）、21 日（木）
午後 2 時～午後 4 時

・人権研修	テーマ	サービス介助基礎検定
	参加者	39 名
	実施日	平成 30 年 11 月 2 日（金）、14 日（水） 午後 2 時～午後 3 時 30 分
・接遇マナー研修	テーマ	情報化社会における人権と企業 ～インターネットと人権～
	参加者	69 名
	実施日	平成 30 年 10 月 24 日（水）、25 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 4 時
・個人情報保護研修	テーマ	ピンチをチャンスに！ファンを増やすクレーム対応
	参加者	34 名
	実施日	平成 31 年 3 月 5 日（火） 午後 2 時～午後 3 時 30 分
	テーマ	人為的なミスやうっかりミスをなくすための個人情報保護研修 ヒューマンエラー防止編・解説編
	参加者	59 名

▶防災訓練（年 2 回）、エレベータ閉じ込め対応、不審者、急病人対応等の訓練を実施しました。

・防災訓練	実施日	平成 30 年 8 月 22 日（水）
	実施日	平成 31 年 3 月 11 日（月）
・エレベータ閉じ込め救出訓練	実施日	平成 31 年 1 月 23 日（水）
	実施日	平成 31 年 2 月 25 日（月）
・不審者等対応訓練	実施日	平成 31 年 2 月 25 日（月）
・急病人対応訓練	実施日	平成 31 年 2 月 25 日（月）

▶（公社）大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の案内チラシを配架するとともに紹介を行いました。

▶スタッフ一人ひとりが、高齢者や障がい者に対して積極的な声掛け、案内を行い、安全・安心な施設づくりに努めました。

▶子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プラン」が開催するセミナー等に参加しやすいように、社会福祉法人が運営する労働センター南館の保育園「キッズもみの木」と連携して、一時保育を無償で実施しました。

▶日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、平成 30 年 11 月 2 日に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。（献血者：19 名）

▶平成30年 7 月に西日本を中心に発生した豪雨災害への支援のため「豪雨災害義援金募金箱」をエル・おおさか本館 1 階に平成30年 7 月24日から11月29日まで設置しました。（義援金額：25,834円）

▶NHK歳末たすけあい運動に協力し、平成30年12月 1 日から12月25日までエル・おおさか本館 1 階に

募金箱を設置しました。(募金額：4,839円)

- ▶OSAKA しごとフィールドと協力し、ニート、レイブル状態の方を対象に、講座の受付やランチたいむコンサートの会場設営・運営の仕事体験の場を提供しました。
- ▶障害者就業・生活支援センター等を活用し就職困難者を雇用するとともに、施設の清掃業務ではエル・チャレンジを通じて知的障がい者を2人雇用しました。
- ▶照明のLED化等により年間電力量及びCO₂排出量の削減に努めるとともに、館内でのゴミの減量化、分別を引き続き実施しました。

④ 施設改修

施設改修・修繕は利便性向上、美装化、安全安心、緊急性の観点から各種工事を実施しました。

▶利便性向上

- ・本館5階男女洋式トイレブース備品の設置
- ・本館トイレ用便座除菌クリーナー薬剤の購入
- ・本館会議室で複数入口扉がある鍵の1本化
- ・本館エル・シアター客席座席番号表示
- ・本館5階視聴覚室映像受信装置入替等工事
- ・本館9階湯沸かし器取替
- ・南館7階、10階会議室天井カセットエアコン室内機洗浄作業
- ・本館研修室2、709会議室、南館南734、南1023講習室 音響機器更新
- ・本館エル・シアター調光装置信号変換器設置工事

▶美装化

- ・本館1階ロビー看板撤去工事
- ・本館1階ディスプレイモニター架台の加工
- ・本館5階トイレ改修工事
- ・本館5階E Vホール及び廊下タイルカーペット貼替え工事
- ・本館エル・シアター舞台床塗装
- ・本館プチ・エルコンサートピアノ譜面台修理
- ・本館エル・シアター客席椅子座カバー取替

▶安全安心

- ・本館エル・シアター客席椅子の点検修理
- ・本館1階、南館7階、10階天井カセットエアコンフィルターの購入
- ・本館屋上ゴンドラシートカバーの取替
- ・本館消防設備点検による消防設備改修工事
- ・本館1階駐車場入口門扉取替工事

▶緊急性

- ・本館冷却水総合水処理剤の購入
- ・本館空調機用フィルターの取替
- ・南館南 1023 講習室のブラインド部品交換修理工事
- ・本館 9 階系統空調機ロールフィルター巻取機部品交換整備
- ・本館冷却塔 C T-3 薬注装置のタイマー交換
- ・本館ファンコイル用風向板の購入
- ・本館 1 階保安室エアコン内部及びドレン配管洗浄
- ・本館 10 階配膳室及び女子トイレ雑排水主管洗管工事
- ・本館 6 階男子トイレ小便器排水主管洗管工事
- ・本館 10 階厨房排水管更新工事
- ・本館 4 階バルコニー避難器具防水カバー取替
- ・本館会議室用機の修理
- ・パイプイス収納台車の購入

⑤ 施設の利用状況

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	12,309 件	637,464 人	188,716,490 円
ホール	249 件	201,701 人	52,556,000 円
プチ・エル	307 件	24,800 人	5,744,600 円
ギャラリー	292 日	-	6,716,640 円
集会室	298 件	19,920 人	8,222,800 円
計	13,455 件	883,885 人	261,956,530 円
駐車場	27,487 台	-	28,193,000 円
収入合計			290,149,530 円

(2) 自主事業の実施

① 地域活性化・社会貢献を目的とした事業

- ▶大阪マラソン開催時（平成 30 年 11 月 25 日）にボランティアを募集し、沿道整理やランナーの安全支援等のボランティア活動を実施しました。（ボランティア：51 人）
- ▶7 月 25 日（水）の天神祭に併せて、会議室等の利用者を招待する「天神祭の夕べ」を開催するとともに、天神祭船渡御保存会に協力を行いました。（招待者：79 人）
- ▶労働センターが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「たそがれコンサート」に協力し、練習場所を提供しました。
- ▶地震等の災害時に、労働センターで帰宅困難者を受入れることができるように、ミネラルウォーターや非常用寝具、食糧品等の備蓄を引き続き行いました。

- ▶共同事業体「エル・プラン」の職員が中心となり、労働センター周辺の清掃活動を毎月1回実施しました。
- ▶NPO法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティア説明会の会場を無料で提供しました。
- ▶2025年大阪万博誘致を実現するため、館内に幟、ポスターを掲出しました。

② 知識・スキル向上を目的として実施する事業

▶歴史セミナー

勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代を題材にして開催しました。

- | | | |
|-----|------|--|
| ・前期 | テーマ | 都城をめぐる国際交流史 |
| | 実施日 | 平成30年4月23日（月）～9月25日（火）毎月1回
午後2時～午後3時30分 |
| | 実施場所 | 本館6階 大会議室 |
| | 受講者数 | 延べ631人 |
| ・後期 | テーマ | 激動の時代を生きたひとびと～古代人物伝～ |
| | 実施日 | 平成30年10月17日（水）～平成31年3月18日（月）毎月1回
午後2時～午後3時30分 |
| | 実施場所 | 本館6階 大会議室 |
| | 受講者数 | 延べ723人 |

▶文化芸術サロン

勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、古代文化等興味深いテーマを取り上げて開催しました。

- | | | |
|------|------|--|
| ・第1回 | テーマ | 萬葉集の盛観～名歌をたどる～ |
| | 実施日 | 平成30年11月1日（木）、13日（火）、30日（金） |
| | 実施場所 | 11月1日 本館7階709号室
11月13日、30日 本館5階視聴覚室 |
| | 受講者数 | 延べ120人 |
| ・第2回 | テーマ | シルクロードに悠久の夢とロマンを馳せて |
| | 実施日 | 平成31年1月22日（火）、2月26日（火）、
3月19日（火） |
| | 実施場所 | 本館5階視聴覚室 |
| | 受講者数 | 延べ184人 |

▶特別講演会

著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上を図ることを目的に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で講演会を開催しました。

- | | | |
|-----|-----|-------------------------------|
| 第1回 | 実施日 | 平成30年8月22日（水）
午後6時30分～午後8時 |
|-----|-----|-------------------------------|

	実施場所	エル・おおさか本館 エル・シアター
	テ ー マ	大丈夫だよ、がんばろう！ ～乳がんを乗り越えて素敵に生きる～
	講 師	■■■■■
	参加者数	201 人
第2回	実 施 日	平成31年3月19日（火） 午後6時30分～午後8時
	実施場所	エル・おおさか本館 エル・シアター
	テ ー マ	人の心を動かす技術 ～ザ・メンタリズム～
	講 師	■■■■■ ■■■■■
	参加者数	653 人

▶大阪府立近つ飛鳥博物館館長承継記念講演会

歴史セミナーの協力先である（公財）大阪府文化財センターとの共催で近つ飛鳥博物館の館長が交代することを受けて、前館長、新館長による講演会とパネルディスカッションを開催しました。

実 施 日 平成30年5月20日（日）
午後1時～午後4時30分
実施場所 エル・おおさか本館 エル・シアター
講師及びテーマ
■■■■■ ■■■■■ 木簡に見る古代の大阪
■■■■■ 前方後円墳の出現と終末の意味するもの
参加者数 348 人

▶資産形成セミナー 「ライフプランに基づいた資産運用の考え方」

金融・経済情勢が変化する中、金融に関する知識と判断力を身に付けるため、ライフプラン・マネープランの考え方や金融商品等の基礎を学ぶセミナーを日本証券業協会の協力により開催しました。

実 施 日 平成30年11月6日（火）、13日（火）、20日（火）
午後6時30分～午後8時30分
実施場所 エル・おおさか本館5階 研修室2
受講者数 延べ177 人

▶養成講座「仕事で使えるパソコン講座」

パソコンスキルを身につけジョブスキルを高める講座をOSAKAしごとフィールドと共催で実施しました。

実 施 日 平成31年1月23日（水）、24日（木）、25日（金）
午後コース 午後1時30分～午後3時30分
夜間コース 午後6時30分～午後8時30分
実施場所 エル・おおさか本館7階 709号室
受講者数 午後コース 延べ95 人
夜間コース 延べ65 人

▶入社予定者育成研修

中小企業等への入社予定者に対して、社会人としてのビジネスマナー、新入社員としての心構え、コミュニケーション術を習得する研修を2回開催します。

実 施 日	A日程	入社予定者	平成31年2月5日（火）、6日（水） 午前9時30分～午後4時30分
		育成担当者	平成31年2月6日（水） 午後2時～午後4時30分
	B日程	入社予定者	平成31年2月19日（火）、20日（水） 午前9時30分～午後4時30分
		育成担当者	平成31年2月20日（水） 午後2時～午後4時30分
実施場所	エル・おおさか会議室		
受講者数	A日程	入社予定者	延べ21人
		育成担当者	6人
	B日程	入社予定者	延べ52人
		育成担当者	12人

▶職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者や勤労者を対象に、職場におけるメンタルヘルスケアの具体的な取り組みを紹介し、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実 施 日	平成30年10月3日（水）
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
テ ー マ	ラインケアについて考える
受講者数	109人

③ 文化教養に関する事業

▶なにわ美術展

大阪府内の勤労者及び府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実 施 日	平成31年3月1日（金）～3月6日（水）
実施場所	エル・おおさか本館9階 ギャラリー他
来場者数	延べ980人

▶ランチたいむコンサート

労働センターの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、労働センターをより身近な施設として感じてもらうことを目的に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で毎月実施しました。

実 施 日	毎月第3月曜日 (7月、9月は祝日のため翌日の火曜日に開催、6月は大阪北部地震により中止) 午後0時10分～午後0時50分
-------	---

実施場所 エル・おおさか本館 10 階 梅寿の間
観賞者数 延べ 833 人

▶プチ・エル ナイトコンサート

府民や勤労者に音楽に触れあう機会を提供するとともに、音楽愛好家にプチ・エルの周知を図ることを目的に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催でコンサートを実施しました。

実施日 平成 30 年 8 月 10 日（金）
午後 7 時～午後 8 時 30 分
観賞者数 46 人

▶スタインウェイピアノ 試弾会（再掲）

本館地下 1 階レッスンスタジオ「プチ・エル」に常設しているフルコンサートピアノ スタインウェイ D274 を広く周知するために試弾会を実施しました。

実施日 平成 30 年 7 月 21 日（土）
午前 10 時～午後 7 時 50 分
参加者数 10 組

（3）その他

▶収支状況について

積極的な利用促進活動や利用者の利便性向上に繋がる施設の改修工事を実施するとともに、経費の縮減を図り、効率的、効果的な施設運営に努めたことにより、提案通り大阪府へ 3,210 万円の納付を行いました。

▶個人情報の保護について

個人情報に関する法令、条例、大阪労働協会の個人情報保護規程を遵守するとともに、個人情報保護研修を実施して、利用者等の個人情報の保護に万全を期しました。

▶情報公開体制について

公の施設の管理運営業務に係る次の資料を備え、閲覧に供しました。

- ・ 指定管理者指定申請書
- ・ 事業計画書
- ・ 収支計画書
- ・ 管理体制計画書
- ・ 大阪府との基本協定書
- ・ 大阪府との管理運営業務契約書

▶府施策への取り組み

- ・ 障害者就業・生活支援センター等を活用して、3 名の就職困難者を雇用するとともに、施設の清掃業務において、知的障がい者を 2 名雇用しました。

平成 30 年 6 月 1 日における障がい者雇用率

（一財）大阪労働協会	3.85%
大林ファシリティーズ（株）	2.15%

- ・本館1階や公の施設の階、各階トイレ等の照明をLED照明に交換し、年間電力量及びCO₂排出量の削減に努めました。
- ・2025年万博誘致を実現するため館内に幟、ポスターを掲出しました。(再掲)
- ・地球温暖化防止活動の裾野を広げていく「関西エコオフィス運動」の取り組みに賛同し、『関西エコオフィス宣言事業所』として申請し、登録されました。
- ・大阪府が「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」など、男性も女性もいきいきと働くことのできる取組みを進める「男女いきいき・元気宣言」事業者として登録し、その取組みを応援しました。

2 労働センター南館運営事業

労働センター（エル・おおさか）南館については、借地権信託事業が終了し、平成26年4月から、労働協会が建物所有者として運営を行い、平成30年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への着実な残債の返済に努めました。

また、平成28年度に策定した「長期修繕計画」に基づく大規模改修工事を実施し、入居者に安全で快適な執務環境を提供するとともに建物の資産価値の維持向上を図りました。

1. 入居率 94.57%（平成31年3月1日現在）

2. 「南館三者懇談会」の開催

〔第1回〕	開催日	平成30年9月27日（木）
	場 所	エル・おおさか本館6階 研修室4
	議 題	①平成30年9月1日現在の入居状況について ②労働センター南館長期修繕計画の実施状況について ③平成29年度決算報告について ④平成30年度執行見込について ⑤意見交換
〔第2回〕	開催日	平成31年2月26日（火）
	場 所	エル・おおさか本館5階 研修室3
	議 題	①平成31年2月26日現在の入居状況について ②労働センター南館長期修繕計画の実施状況について ③平成30年度収支見込及び返済額について ④意見交換

3. 平成30年度に実施した主な施設の改修

- ・吸収冷温水機R-1・冷却塔CT-1更新
- ・南館9、10階系空調機AC-6整備工事
- ・南館4階労働基準連合会間仕切り工事
- ・南館2階託児所前防犯カメラ設置工事
- ・南館7、10階会議室前列照明LED化工事
- ・南館駐車場人感センサー設置工事

- ・南館5階ホワイエ空調設備ダクト改修工事
- ・消防設備点検に伴う消防設備改修 等

3 人材開発事業

平成30年度の人材開発事業では、受託事業13件、自主事業2件の15件の事業を実施しました。受託事業13件のうち10件は国及び自治体から受託し実施しました。他3件は28年度から取組んでいる民間からの委託事業を強化し、平成30年度は新たに大学から事業の依頼を受けることができました。また自主事業では、大阪府から受託している OSAKA しごとフィールド中小企業人材支援センター事業において、収益性のある『合同企業説明会』や、有名講師による『カリスマ講演会』など独自企画で自主事業を実施しました。

さらに、商工会議所や近畿大学など講師依頼が増えて来たことから、講演料を受領するセミナー等も積極的に受託し収益化を図りました。

事業の傾向としては、売り手市場は更に加速しており、中小企業の人材確保促進に係る事業予算が増加傾向にあります。中でも、人材確保の手段として中小企業が、大手企業の人材をシェアして求人難を解消するなど多様な雇用形態を実現させるモデル事業がスタートしました。

求職者支援では、就職率改善により求職者が減少しているとともに、就職活動がインターネットによる個人活動が主流となり、公の場に出てこないという課題が拡大しています。そのため人材の掘り起こしのためのイベントやメニューの開発が求められていることから、就職のテーマから少し離れた内容でセミナーやイベントを実施することで、潜在求職者を獲得することができました。

一方で、長期離職者や発達障害の可能性のある未内定卒業者など、継続して困難層への対応も継続した課題のため、個別指導や交流会を行うなど丁寧な就職支援の必要性が高まっていることにも対応するメニューも実施しました。その結果、概ねの事業において目標を達成することができました。

(1) さかいJOBステーション事業業務

(堺市受託事業)

さかいJOBステーション事業では、若年者支援を行う「JOB カフェ SAKAI」、再就職を目指す女性を支援する「女性しごとプラザ」、さかいJOBステーションのサテライトである「JOBステーション南サテライト」を拠点に、就職支援事業を実施しました。また、さかいJOBステーション事業の趣旨に賛同する堺市内企業を開拓する業務を継続して実施し、企業交流イベントや合同企業面接会・説明会を実施するとともに、ホームページ上で企業情報を公開することで、市内の若年者等の就労を促進し、雇用のマッチングを行いました。

【決算額：92,011,106円】（事業期間：平成29年4月～平成31年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
来訪者数	12,000 人	11,448 人 (95%)
新規来場者数	2,400 人	3,424 人 (143%)
就職決定者数	1,700 人	1,770 人 (104%)
新規登録企業数	50 社	51 社 (102%)

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
求人企業情報件数	500 件	537 件 (107%)
合同企業説明・面接会数	2 回	3 回 (150%)
企業交流会数	50 回	75 回 (150%)

(2) 生涯現役地域連携事業「職域拡大実践事業」業務

(厚生労働省⇒大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会再委託事業)

国においては、少子・高齢化が進展する中、健康で意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向けた取組みを進め、特に 65 歳以降の高齢者の雇用・就業機会の確保が重要な課題となるため、その解決を目指しています。大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会では、高齢者の経験や知識、優れたコミュニケーション能力等を活かし、高齢者の新たな職域拡大につながる就業機会を開拓するとともに、双方のマッチングにより高齢者の就職に結びつけるため事業を実施しました。当協会では主に、セミナーの開催、新たな連携企業の開拓を実施しました。

【決算額：8,767,116 円】（事業期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
就職決定者数	45 人	78 人 (173%)
企業開拓社数	30 社	56 社 (187%)
セミナー参加者数	440 人	558 人 (127%)
セミナー開催数	20 回	25 回 (125%)
シニア人材育成講習参加者数	45 人	47 人 (104%)

(3) OSAKAしごとフィールド運営委託事業

(大阪府受託事業)

大阪府では、平成 25 年 9 月に総合就業支援施設「OSAKAしごとフィールド」を設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者等の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできました。この間、労働市場の大幅な改善がみられましたが、それでもなお、就職を希望するにもかかわらず就職につながらない、もしくは就職しても継続して就業することができない求職者の存在など、様々な課題が顕在化してきました。また、人口減少社会において中小企業における人材不足は深刻な状況にあり、特に「製造」「運輸」「建設」業界の人材確保は喫緊の課題となっています。

そこで、社会環境の変化や中小企業のニーズを的確に把握し、新たな政策課題に対応する支援策を研究するとともに、先駆的に課題解決に取組み、セミナーの開発や広報の企画、公共職業訓練の実施、データベースシステム開発・運用等を駆使した新しい OSAKAしごとフィールドを目指し、NPO 法人 HELLOlife と共同企業体を構成し運営を行いました。実施したメニューは以下のとおりです。

OSAKA しごとフィールド運営事業

[HELLolife 担当業務]

- ・受付 ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・イベント実施 ・調査
- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

女性・若者働き方改革推進事業

[HELLolife 担当業務]

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務

[大阪労働協会担当業務]

- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

公共職業訓練事業

[大阪労働協会担当業務]

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・職業訓練講師 ・職業訓練広報

【決算額：9,897,316 円】（事業期間：平成 29 年 5 月～令和 2 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
新規登録者数	14,000 人	14,178 人 (101%)
就職決定者数	8,000 人	6,555 人 (82%)
働き方改革セミナー開催数	48 回	48 回 (100%)
公共職業訓練開催数	4 回	3 回 (75%)
公共職業訓練参加者数	20 人	5 人 (25%)

(4) 京都ジョブパーク事業移住人材確保支援業務

(京都府受託事業)

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流及び京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図ることを目的として実施しました。カウンセリングやセミナーなどUIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援及び人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や求める人物像の発信等による人材確保支援について、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用することで一元的にマッチングする効果的な支援を行いました。

【決算額：40,211,731 千円】（事業期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
UIJ ターン新規登録者数	2,000 人	3,464 人 (173%)
UIJ ターン就職内定者数	950 人	1,282 人 (135%)
UIJ ターンナビ訪問者数	130,000 件	223,222 件 (171%)

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
UIJ ターン求人掲載数	400 件	444 件 (111%)
移住交流体験者数	40 人	47 人 (118%)
ミニ京都ジョブ博参加者数	400 人	680 人 (170%)
大学内 UIJ 就職相談会	20 回	22 回 (110%)
京都府無料職業紹介内定数	25 人	10 人 (40%)

(5) 中小企業人材マッチング支援事業（若者安定&UIJ）

(大阪府受託事業「地方創生推進交付金事業」)

近年、企業を取り巻く採用環境は厳しさを増しており、特に中小企業では若者の採用難が深刻な問題となっています。府内中小企業におけるこうした人材不足は、事業の維持や成長を阻害し、ひいては大阪経済の活力の低下を招く恐れがあります。そこで、以下 A、B の 2 事業を実施することにより、是正を目指し実施しました。事業実施にあたり、株式会社学情と共同企業体を構成し事業実施にあたりました。

【A事業】若者の中小企業への理解促進を図りながら、特に人材不足業種を中心に、金融機関等が推薦する「成長性」や「安定性」等の面で優れた中小企業への安定就職に結び付けていくことにより、中小企業の人材確保を図りました。(事業担当：大阪労働協会)

【B事業】東京圏を中心とした大手企業等で働く経験豊富な人材や、基礎学力や専門知識だけでなく高い社会人基礎力を有する若者などを大阪へ還流させることにより、府内中小企業の人材確保を図りました。(事業担当：株式会社学情)

【決算額：51,256,527 円】(事業期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
就職決定者数	700 人	810 人 (116%)
事業登録者数	5,000 人	6,744 人 (135%)
企業開拓社数	450 社	759 社 (169%)
合同企業説明会開催数	7 回	10 回 (143%)
逆オファー交流会開催数	7 回	7 回 (100%)

(6) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業

(中小企業人材支援センター運営委託事業&企業主導型保育事業推進事業)

(大阪府受託事業)

大阪府では平成 25 年 9 月に総合就業支援施設「OSAKAしごとフィールド」を設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者などすべての求職者の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできたところです。この間、労働市場は大幅な改善が見られ、企業が人材を確保するには、求職者にとって魅力あ

る企業となり、かつそれを求職者に適切な方法で訴えかけることが重要となっています。特に人材が不足している分野（製造・運輸・建設）においては、「労働条件が厳しい」といったネガティブなイメージが根強いいため、就業可能な女性や若者が多数存在するにも関わらず、企業の人材確保ができていないといった状況にあります。このため、人材不足の状態にある「製造」「運輸」「建設」の3分野を中心に、業界のイメージアップや働く職場環境の整備等をすすめ、企業の人材確保の推進を目指し実施しました。さらに、平成28年度から開始した企業主導型保育推進業務についても本事業内で実施し、企業の更なる参画により待機児童解消を目指しNPO法人HELL0lifeと共同企業体を構成し運営を行いました。実施したメニューは以下のとおりです。

中小企業人材支援センター(大阪働き方改革支援センター)運営委託事業

(大阪労働協会担当業務)

- ・窓口業務 ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・イベント実施 ・調査
- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

(HELL0life 担当業務)

- ・ホームページ管理業務

企業主導型保育事業推進事業

(大阪労働協会担当業務)

- ・窓口業務 ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・イベント実施 ・調査
- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

(HELL0life 担当業務)

- ・ホームページ管理業務

【決算額：71,812,980円】（事業期間：平成30年5月～平成31年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
人材確保ができた企業数	200 社	326 社 (163%)
助言指導相談件数	2,640 件	3,764 件 (143%)
セミナー開催数	120 回	121 回 (101%)
人材確保コンサルティング社数	240 社	285 社 (119%)
人材の掘り起こし人数	400 人	337 人 (84%)
大学との連携数	15 大学	9 大学 (60%)
企業主導型保育相談件数	1,000 件	2,324 件 (232%)
企業主導型保育セミナー開催数	10 回	20 回 (200%)
企業主導型保育コンサルティング社数	50 社	69 社 (138%)
調査企業数	100 社	164 社 (164%)

**(7) 近畿経済産業局における平成 30 年度地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業
オープン型マッチング事業**

(中小企業庁受託事業)

近畿経済産業局が所管する地域（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に人材確保が厳しい中小企業を対象に事業を行いました。各地域の実情を認識し、課題を明確化したうえで、中小企業の経営強化に資する人材を確保するため、中小企業における採用ニーズの高い若者や、採用ニーズが拡大している海外人材や女性など多様な人材を対象として、中小企業の魅力を伝えるためのセミナーや、マッチングイベントを実施しました。

【決算額：64,040,000 円】（事業期間：平成 30 年 5 月～平成 31 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業満足度	80%	89% (111%)
セミナー参加企業数	330 社	444 社 (135%)
アンケート調査学生人数	700 人	1,280 人 (183%)
フォローアップ調査企業数	2,923 社	2,923 社 (100%)
マッチング会参加企業数	190 社	259 社 (136%)
マッチング会参加人数	900 人	1,835 人 (204%)

(8) 【若者・女性の就労等トータルサポート事業】若者・女性への就労支援事業

(大阪市受託事業)

大学等の卒業予定者のうち未内定者、卒業後の未就業者等の 34 歳以下の若年求職者に対して、就職の準備段階として、仕事に就き継続して働くことについての意識づけや適性に合った仕事選びのためのキャリアデザインセミナーを開催するとともに、若者の採用・人材育成や女性が働き続けられる職場づくりに積極的に取り組んでいる企業等による合同企業説明会を開催するなど、自分に合った安定した仕事につけるようきめ細かな支援を実施しました。

【決算額：3,810,000 円】（事業期間：平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
合同企業説明会開催数	3 回	3 回 (100%)
セミナー開催数	2 回	2 回 (100%)
事業参加人数	1,100 人	557 人 (51%)
就職決定人数	160 人	167 人 (104%)

(9) 地域中小企業人材確保支援事業（中核人材確保スキーム事業）

（中小企業庁受託事業）

生産年齢人口が減少する中、人手不足は恒常化する問題であり、昨今は仕事を見つけにくい「求職難」の時代から、人手の確保が困難になる「求人難」時代に移行したと言えます。特に中小企業では、経営者の高齢化に伴う事業承継等は大きな問題であり、また、経営課題の上位に「人材の不足」が挙げられる等深刻な状況です。成長・拡大を志向する中小企業では、企業の持続的成長・発展や地域活性化に必要な付加価値創出を担う「中核人材」の不足感が顕著であり、中核人材の確保を戦略的に進めていくことが必要です。

そこで、中小企業で多様な人材が中核人材として活躍できるよう、持続可能な人材確保スキームを検討し、成功事例の創出を目指します。具体的には、中小企業が多様な人材を、多様な形式で活用（継続（定着）型の採用のみならず兼業・副業等のプロジェクト（期間限定）型の採用等も含む）するための仲介支援者による人材確保支援スキームを創出・実証する事業を実施しました。

【決算額：40,000,000 円】（事業期間：平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業満足度	80%	90% (113%)
事業参加社数	90 社	168 社 (187%)
プロジェクト開拓件数	33 件	40 件 (121%)
マッチング件数	33 件	7 件 (21%)

(10) 四天王寺大学インターンシップ事業

（学校法人四天王寺学園受託事業）

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行う新メニューを新入生募集の際に掲げており、今回がスタート年となりますが、学内での実施にあたり、外部への委託を計画しています。そこで、これまでインターンシップ関連事業での実績を有する当協会が受託することとなりました。経営学部3年生のインターンシップ先確保及び1週間程度の管理業務を行うとともに、事前・事後研修を行い、インターンシップが有効なものとなるよう実施しました。

【決算額：5,384,826 円】（事業期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

【実績】

項 目	事業実績
インターンシップ参加人数	76 人

(11) 関西電気管理技術者協会 5 年毎研修

（一般社団法人関西電気管理技術者協会委託事業）

関西電気管理技術者協会では、会員約 900 名が在籍しており、その中から毎年 180 名の研修を実施しています。平成 29 年度からの 5 年間は、新しくスタートする研修を当協会に委託され、カリキュラム開発、基

調講演、グループディスカッション運営等を実施しました。

【決算額：410,400千円】（事業期間：平成29年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	2回	2回 (100%)

(12) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業

(株式会社池田泉州銀行受託事業)

池田泉州銀行では平成21年から融資先企業における人材確保支援を開始し、行政と連携しこれまで多数の合同企業説明会を連携して開催してきました。近年、企業では研究開発や製品開発など専門性の高い人材を求める傾向にあり、工業高等専門学校の学生に対する合同企業説明会ニーズが高まっていることから、平成28年度から池田泉州銀行が主催となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。平成30年度は参加企業数枠を拡大し実施しました。

【決算額：7,398,000円】（事業期間：平成30年10月～平成31年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
参加者企業数	120社	137社 (114%)
参加者学生数	200人	270人 (135%)

(13) OSAKA 女性活躍推進事業（若者×社会人交流会）の開催に係る広報・運営業務

(大阪府受託事業)

政治家や弁護士といったまだまだ女性がマイノリティとなっている分野・職業で活躍する方や、国際機関での勤務経験のある方をゲストに招き、キャリアの選択ややりがいについてお話いただくことで、「女性の仕事」「男性の仕事」といった固定的性別役割分担意識の解消について理解を深め、自分らしい「働き方・生き方」について選択できる能力を培うことを目的に実施しました。

【決算額：900,504円】（事業期間：平成30年12月～平成31年3月）

【実績】

項 目	事業実績
交流会参加申込者数	85人

(14) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業

(自主事業)

OSAKA しごとフィールド中小企業の人材確保支援事業において、事業の他に自主事業の運営を行いました。多数の有料セミナーの実施や中規模合同企業説明会などを実施しました。

【決算額：4,208,400 千円】(事業期間：平成30年5月～平成31年3月)

(15) 講師派遣事業

(自主事業)

人材開発部の職員が、商工会議所や大学等から講演依頼を受けセミナーを実施しました。商工会連合会や泉佐野商工会議所などへの企業向けの人材確保に関するセミナーや、近畿大学の学生や近畿中小企業溶接事業協同組合の求職者に向けた講義等を実施しました。

【決算額：470,348 円】(事業期間：平成30年5月～平成31年3月)

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差を是正し、福利厚生向上を図るため、中小企業に勤務する従業員及び事業主を対象とした市共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした福利厚生事業、調整援助事業を行いました。

(1) 福利厚生事業

加入市共済会との意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、宿泊施設やテーマパークの利用、展覧会の鑑賞補助等の事業を実施しました。

①福利厚生部会の開催

平成31年3月13日(水)

②加入者数(平成31年3月1日現在)

加入市共済会	18市共済会
事業所数	4,502事業所
会員数	37,338人

③利用補助事業

スポーツ施設	15,274人
健康管理	3,093人
宿泊施設	1,299人
テーマパーク	597人

(2) 調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行いました。

①運営協議会の開催

第1回 平成30年5月28日(月)

第2回 平成31年3月13日(水)

②加入者数(平成31年3月1日現在)

加入市共済会 22市共済会

事業所数 6,092事業所

会員数 57,182人

Ⅲ 協会運営事業

1 総括的事項

(1) 理事会の開催

第1回理事会

と き

平成30年6月7日(木)

と ころ

エル・おおさか本館10階 竹の間

議 案

第1号議案 平成29年度事業報告及び決算報告に関する件

第2号議案 平成29年度公益目的支出計画実施報告に関する件

第3号議案 平成30年度追加事業計画及び補正予算に関する件

第4号議案 定時評議員会に提出する理事候補者に関する件

第5号議案 平成30年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き

平成30年6月25日(月)

と ころ

エル・おおさか本館10階 竹の間

議 案

第1号議案 理事長の選定に関する件

第2号議案 専務理事の選定に関する件

第3号議案 役員の報酬に関する件

第4号議案 事務局長の任命の承認に関する件

第3回理事会

と き

平成31年3月25日(月)

と ころ

エル・おおさか本館10階 竹の間

議 案

第1号議案 平成30年度追加事業計画及び補正予算に関する件

第2号議案 平成31年度事業計画及び当初予算に関する件

報告事項

第4期大阪府立労働センター指定管理の選定結果について

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会

と き	平成 30 年 6 月 25 日（月）
と ころ	エル・おおさか本館 10 階 竹の間
議 案	第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算報告に関する件 第 2 号議案 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告に関する件 第 3 号議案 理事の選任に関する件
報告事項（１）	労働センター南館事業の近況について
報告事項（２）	平成 30 年度事業計画及び収支予算について

（３）監事の監査

定款第 24 条第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き	平成 30 年 6 月 4 日（月）
と ころ	エル・おおさか南館 7 階 南 75

（４）中間監査の実施

平成 30 年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き	平成 31 年 1 月 25 日（金）
と ころ	エル・おおさか南館 7 階 南 75

（５）協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に繋げています。

11 回開催（8 月を除き毎月開催）

（６）個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を平成 31 年 2 月 28 日に開催しました。

（７）衛生委員会の開催

職員の安全及び健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を平成 30 年 4 月 19 日に開催しました。

また、毎月第 4 木曜日には、産業医による健康相談を実施するとともに、衛生委員会だよりを作成し、健康に関する情報を職員に周知しました。〔平成 30 年度 3 回発行（5 月、8 月、10 月）〕

（８）職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実を目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。また今年度より、健康と活力ある職場環境づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。（一部再掲）

- | | | |
|-------------------|-----|---|
| ・人権研修 | 実施日 | 平成 30 年 11 月 2 日（金）、14 日（水）
午後 2 時～午後 3 時 30 分 |
| | テーマ | 情報化社会における人権と企業
～インターネットと人権～ |
| ・接客マナー研修 | 実施日 | 平成 30 年 10 月 24 日（水）、25 日（木）
午後 1 時 30 分～午後 4 時 |
| | テーマ | ピンチをチャンスに！ファンを増やすクレーム対応 |
| ・個人情報保護研修 | 実施日 | 平成 31 年 1 月 30 日（水）
午後 2 時～午後 3 時 |
| | | ※平成 31 年 3 月 5 日に共同事業体「エル・プラン」の個人情報保護研修を開催
テーマ：個人情報保護対策（ヒューマンエラーを防止する） |
| ・管理監督者向けメンタルヘルス研修 | 実施日 | 平成 30 年 12 月 19 日（水） |
| | テーマ | ラインケアプログラム |

2 労使関係団体、NPO 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

勤労者の人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、一般社団法人大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、なにも美術展、ランチたいむコンサート、特別講演会を共催で実施しました。

また、「NPO 法人 HELL0life」と共同事業体を構成して O S A K A しごとフィールドの運営を行うほか、南館 2 階で保育所「キッズもみの木」を運営する「社会福祉法人吹田みどり福祉会」と連携し、特別講演会等開催時に一時保育を無償で実施しました。

さらに、NPO 法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティア説明会等の会場を無料で提供しました。

3 エル・おおさか入居団体連絡会の開催

エル・おおさか本館・南館の入居団体で構成する連絡会を開催し、情報交換、情報共有を行いました。

- | | |
|------|---|
| と き | 平成 31 年 2 月 27 日（水） |
| と ころ | エル・おおさか南館 10 階 南 101 |
| 議 題 | ・共同事業体エル・プランからの情報提供
・各団体からの情報提供
・意見交換 |

令和元年度 事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、これまで大阪労働大学講座等の公益目的支出計画事業である労働関係講座のほか、大阪府立労働センター（以下「エル・おおさか」）の指定管理業務、エル・おおさか南館運営事業や勤労者福祉の事業所福祉共済事業、若年者等の就職支援を行う人材開発事業などの円滑な運営に努めてきました。

エル・おおさかの指定管理業務については、平成18年7月から平成31年3月までの間、当協会と大林ファシリティーズ株式会社との共同事業体「エル・プラン」が、指定管理者として三期の運営を行ってきました。令和元年度からの5年間は、共同事業体に新たに株式会社コングレを構成員に加え、エル・おおさかの指定管理者として共同事業体「エル・プロジェクト」が、施設利用者の増加、サービスの向上に努め、安全で安心して利用できる施設づくりを目指した1年目の施設管理運営業務を行いました。

また、エル・おおさか南館については、引き続き安定的な経営を図るために入居者の確保をはじめ、現入居者の要望を反映した施設の整備、維持管理費等の節減などに努めてきました。

さらに、若年者等の就職支援については、エル・おおさか内の「OSAKA しごとフィールド」の運営団体の一員として事業運営を行うとともに、関係機関と緊密な連携を図り、若年者等の就労の支援と大阪産業を担う人材の育成を行ってまいりました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、労働組合員・企業の人事労務担当者・労働問題に関心のある人や社会保険労務士等を対象に、前期と後期の2期に分けて大阪府と共催で開催しました。また、後期講座においては「働き方改革法」を取り上げて、その課題と問題点を考えるシンポジウムを開催しました。

【主催】 大阪府、(一財)大阪労働協会

【後援】 日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一社)大阪労働者福祉協議会、
大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会

【前期講座】

実施期間 令和元年6月11日(火)～ 令和元年9月3日(火)
午後6時30分～午後8時30分

講座回数 20回

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室

受講者数 個人81人、1団体

終了者数 67人(14回以上出席者)

【後期講座】

実施期間 令和元年10月10日(木)～ 令和2年1月24日(金)
午後6時30分～午後8時30分

講座回数 21回(21回目(令和2年1月24日(金))に労働法分野のシンポジウム「働き方改革法について」を開催)

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室(令和2年1月15日、1月16日、1月24日は南館5階南ホールで開催)

受講者数 個人81人、1団体

終了者数 54人(14回以上出席者)

【修了者数】 36人(うち皆勤者数11人)

2 労働保険・社会保険実務講座

新しく人事労務を担当する人や労働組合等を対象に、労働保険・社会保険制度や入社から退職までの各種手続き、主な労働保険・社会保険の給付等を基礎から学ぶ講座を2回（各2日間）実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府、大阪府社会保険労務士会

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門 I】

実 施 日 令和元年8月8日（木）、9日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 76人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門 II】

実 施 日 令和元年11月21日（木）、22日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 65人

3 労働法基礎講座

企業人事労務担当者や労働組合員等を対象に、労働法の基礎の習得を目的に労働契約、人事異動、就業規則、労働時間、賃金、労働災害、非正規雇用等をテーマに、（各4日間）実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府

【労働法基礎講座 I】

実 施 日 令和元年9月24日（火）、25日（水）、10月3日（木）、4日（金）
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 延べ245人

【労働法基礎講座 II】

実 施 日 令和2年2月3日（月）、4日（火）、12日（水）、13日（木）
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 延べ159人

II その他事業

1 エル・おおさかの指定管理業務

平成31年4月から始まりました第4期のエル・おおさかの指定管理業務は、（一財）大阪労働協会、大林ファシリティーズ(株)及び(株)コングレの3者で新たに構成しました共同事業体「エル・プロジェクト」が、大阪府立労働センター条例に定める「労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する」という設置目的に基づき行いました。

業務の実施にあたっては、利用者の増加を図るため、積極的な広報と利用者本位のサービスを行うとともに、施設的良好な維持に努め、各種自主事業については、勤労者や一般府民に知識と教養の深化に寄与できるよう、下記の取組み等を行いました。

しかしながら、令和元年1月に入って、国内で新型コロナウイルス感染症が確認され、大阪府でも発症者が出ました。以降この感染症は拡大化の様相となり、2月18日には大阪府知事

から集会等の主催者に自粛の要請が出され、エル・おおさかにおいても利用の自粛が始まりました。自主事業の開催中止・延期やエル・シアターでは、令和2年3月の31件の利用がすべてキャンセルになるなど、その影響は非常に大きく、大阪府からはこのキャンセルに対して、納付金額の減額措置をいただきました。

こうした中、令和2年3月27日に指定管理者構成団体3者による運営委員会を開催し、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を報告し、大阪府との令和2年度管理運営業務契約書締結、令和2年度の事業計画、管理体制計画並びに収支予算について審議し、議決しました。

(1) 公平・平等な施設運営

▶利用受付開始日の申込み受付は抽選により行い、電話等来館されない申込みは来館者の抽選後に先着順で実施しました。

▶エル・おおさかのホームページに集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。

▶利用申込みに虚偽がある場合は、適切な利用申込みをしていただくよう注意喚起しました。

▶目的利用にあたっては、目的利用を偽った料金逃れを防止するため、申込者が署名した目的利用確認書の提出をしていただきました。

▶利用者の平等利用のための指定管理業務に従事する職員を対象に、人権研修や個人情報保護研修を実施しました。

・人権研修	実施日	令和元年10月8日(火)、9日(水) 午後2時～午後3時30分
	テーマ	在日外国人の人権
	参加者	74人
・個人情報保護研修	実施日	令和2年2月25日(火)、28日(金) 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策
	参加者	76人

▶高齢者・障がい者等が施設を利用しやすくする次の取り組みを実施しています。

・視覚障がい者の方にも利用しやすくするため、ホームページについては音声読み上げソフトを令和2年度早々に導入する準備を行いました。

・障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担するサービスを実施しました。

(令和元年10月1日～令和2年3月実績 6件、7,488円)

・公益社団法人大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の紹介を行うとともに、案内チラシを受付に配架しました。

・指定管理業務に従事するスタッフを対象に、高齢者・障がい者対応研修を実施しました。

実施日 令和元年12月3日(火)、4日(水) 午後2時～午後3時30分

テーマ ①「視覚障がい者の立場から」
②「車いすの生活について」

参加者 39人

・指定管理業務に従事するスタッフは、「サービス介助基礎検定」の資格を取得し、資格保有者として適切に対応しました。

・聴力障がい者の方には筆談ボードにより接遇しました。

・館内に車椅子を5台備え、毎週1回メンテナンスを行い、必要とされる方に貸し出しました。

- ▶外部有識者及び利用者で構成する外部評価委員会を開催し、エル・おおさかの管理運営に関する意見・要望をいただきました。この意見・要望は施設運営に反映しました。

開催日 令和元年9月25日(水)

(2) 利用の増加を図る取組み

①広報・PR活動

- ▶エル・おおさかのロゴを平成31年4月に制定し、案内サイン、各種リーフレット、ちらし、ホームページ、職員の名刺等の広報物に一貫性、統一性を持たせ、エル・おおさかの一層のPRを図りました。
- ▶ホームページのリニューアルの実施
ホームページのデザインを見やすくわかりやすいように令和2年1月に一新しました。
 - ・利用者から質問の多い項目をQ&A方式としてFAQを掲載しました。
 - ・エル・シアターや主要な会議室を360度見渡せる動画(グーグルストリートビュー)を掲載しました。
 - ・エル・おおさかの最寄駅である「天満橋」、「北浜」からの道案内を、写真を掲載し分かりやすくしました。
 - ・視覚障がい者の方々のために、音声読み上げソフトを令和2年度早々に導入する準備を行いました。(再掲)
 - ・会議室の室料、貸出備品等の利用料金の合計がすぐわかるように簡易見積りシステムを令和2年度早々に導入する準備を行いました。
- ▶毎月1回発行の広報紙「エルちゃん☆通信」を令和元年10月号からカラー化し、各種講座やセミナーをはじめ、エル・シアターやプチ・エル、ギャラリーの催しを掲載し、大阪府内の団体や関係機関、公共施設等に配架しました。(毎月2,000部発行、配架58施設)
- ▶広いエリアへの広報
 - ・(株)コングレが運営する施設へ利用増加を図るためエル・おおさかのリーフレットやチラシを配架しました。(コングレコンベンションセンター他7施設)
 - ・(株)コングレが実施するイベント開催時にエル・おおさかコーナーを設置し、施設のPRを行いました。(令和元年9月25日、12月2日)
 - ・当協会が運営する合同企業説明会等に参加する企業等にエル・おおさかの利用案内を配付しました。(ドリームマッチジョブフェアや内定エクспレスなどの出展企業約890社に配付)
- ▶エル・おおさかから情報発信
 - ・エル・おおさか公式Facebookを活用し、各種事業やイベント等の情報を提供しました。(提供数:41件)
 - ・メールマガジン登録者に毎月配信し、各種事業の案内をしました。(登録者数:943人)
 - ・ホームページで集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。(再掲)
 - ・「会議室ドットコム」にエル・おおさかを掲載し、エル・おおさかが安くて便利で使いやすい施設であることをアピールしました。(閲覧数:5,516人)
 - ・京阪「天満橋駅」総合案内のタッチ式デジタルサイネージにエル・おおさかを掲載し、「天満橋駅」からエル・おおさかまでのアクセス表示を行うとともに、施設のPRを行いました。

②施設改修の取組み

- ▶要望の多いWi-Fiを本館、南館の公の施設部分に令和元年9月に設置し、利用者には無料

でご利用いただくことにより、利便性を向上させ、利用者の増加に繋がりました。

- ▶本館 10 階集会室フロアのトイレの洋便器化とウォシュレットの整備、小便器及び洗面台の更新と一部手すりの設置、壁面の全面改修を令和元年5月に実施しました。(本館5、6、7階のトイレについては第3期指定管理期間中に指定管理者が改修済)
- ▶会議室の扉が木製のため、各階のロビー部分や廊下で発生する物音が会議室内に聞こえ、利用に支障をきたす場合があるため、本館5階会議室の未実施部分の防音化工事を令和元年8月に実施しました。
- ▶令和元年5～6月に本館地下1階、地下2階の駐車場及び南館5、7、10階のフロアに防犯カメラを設置し、来場者の安全性の向上、安心を確保しました。

③ソフト面の取組み

- ▶近隣のコインパーキングでは「平日」と「日曜・祝日」に駐車場料金に差を設けているため、エル・おおさかでも令和元年10月より日曜日の最大料金を2,400円から1,500円に引き下げ、利用拡大を図りました。
- ▶新規利用者の開拓と利用者の確保
 - ・プチ・エルの利用者のメンバーズカードによるポイント制度を導入しました。
1区分の利用に1ポイントを付与し、5ポイントで平日練習利用の1区分(3時間)の利用料金を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担し提供しました。
(令和元年8月1日～令和2年3月実績:10件、93,400円)
 - ・ギャラリー既利用者から新規利用者の紹介の場合、双方の利用者の利用料金を20%共同事業体「エル・プロジェクト」が負担する新規利用者紹介制度を実施しました。
- ▶近隣の自治会・管理組合には、利用料金を共同事業体「エル・プロジェクト」が20%を負担しました。(令和元年10月1日～令和2年3月実績 13件、34,952円)
- ▶イメージキャラクターの「エルちゃん」を配した卓上カレンダーやうちの販促グッズを作成し、利用者へ配布し施設のPRに努めました。令和元年12月には、近隣の会社等へ卓上カレンダーを持参し会議室等の利用を促す営業活動も実施しました。(実績:250社(団体))
- ▶利用が見込める企業・団体への施設のリーフレットの送付
 - ・スポーツ協会に加盟する67団体に会議室のリーフレットを送付しました。
 - ・エル・おおさかのロゴを配した施設の総合リーフレット、会議室、エル・シアター、プチ・エル、ギャラリーのちらしを各1万部作成し、近隣企業や大阪商工会議所会員企業、大阪府中小企業団体中央会傘下の協同組合、府内の労働組合等に送付しました。
 - ・新規利用者の開拓のため、(一社)全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)が会報誌送付の際にプチ・エルのちらしを封入し、近畿のピアノ指導者の手元にプチ・エルの案内を送付しました。効果検証は新規利用者アンケートで行いました。(送付数:129人)
 - ・ギャラリーの利用後には礼状を送付し、次回の利用案内をするなど利用者のリピーター化に努めました。
 - ・集会室でのイベントを誘致するためにレイアウト図を提供しました。
 - ・松の間以外の集会室についても、会議室が満室の場合には会議室としての利用に誘導しました。

- ▶プチ・エルの利用者増加を図るイベントとして、
 - ・スタインウェイピアノを活用したプチ・エルナイトコンサートを平日の夜間に有料で実施しました。

実施日	令和元年7月19日（金）
テーマ	名曲の数々が Hot&Cool に七変化〜トランペットとピアノによる涼風薫るナイトコンサート
鑑賞者数	52 人
参加料	500 円

- ・スタインウェイピアノの試弾会を 10 組限定で開催しました。
本館地下1階レッススタジオ「プチ・エル」に設置しているスタインウェイ（D274）の試し弾きとして参加者を募り、これまでスタインウェイを弾いたことがない方にその魅力を伝えるとともに、プチ・エルの周知を図ることを目的に実施しました。

実施日	令和元年9月15日（日）
参加料	50 分 1,000 円

- ▶事業や施設の効率的、効果的な広報を行うため共同事業体「エル・プロジェクト」において「広報・PRに関する検討会」を開催しました。（8月を除く毎月開催）

- ▶夜間時間帯の利用向上のため次の取組みを行っています。

- ・会員制自習室サービスの提供
自習を希望する方を登録し、登録した会員に対して、共同事業体「エル・プロジェクト」が会議室を借上げて自習室として無料提供しました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための令和2年3月5日からサービスを中止しています。
（令和2年3月末登録者数：680人）
- ・夜間利用者対象のポイントカードの導入
夜間利用者にポイントカードを発行して、1回の利用について1ポイントを付与し、10ポイント貯まれば、次回の利用についてこれまでにポイントを付与した一番安い会議室を利用者に提供し、その利用料金は共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。（令和元年10月1日～令和2年3月実績：6件、28,400円）
- ・夜間ブレイクタイムサービスの実施
夜間利用者に対して、近隣の飲食店と提携するため、飲食店の開拓をしました（1件連携了承）。
- ・会議室夜間利用の直前予約サービス
利用日の3日前以降の直前の利用申込みがあった場合には、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
（令和元年9月1日～令和2年3月実績：23件、25,056円）
- ・障がい者支援事業所の夜間利用サービス（再掲）

（3）サービスの向上を図るための取組み

①ソフト面の取組み

- ▶利用申込書の受理方法について、これまでのFAXによる利用申込みのほか、利用申込書をpdf化してメールによる利用受付を令和2年1月から開始しました。
- ▶会議室・プチ・エルの利用については、利用時間区分の30分前から鍵を貸し出すサービスと、後の利用に支障のない範囲で最大15分間を後片付けの時間として利用者に提供するサービスを引き続き実施しました。
- ▶エル・シアター利用の際、利用時間区分の前後に利用がない場合に1時間の延長を行える

ようにして、より利用しやすい施設づくりを行いました。

- ▶集会室利用の際には、会議室や宴会場として利用するにあたり、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後1時間を利用者に提供しました。
- ▶利用等により施設見学ができない場合に施設の写真等を取り組んだタブレットを活用して施設を把握していただきました。
- ▶毎月1日の利用受付開始日の抽選等の待ち時間に、お茶のペットボトルやエルちゃんグッズを抽選参加者に提供しました。また、1月4日の利用開始日の抽選時には福袋（卓上カレンダー、マスク、カイロ、お菓子）を利用者に提供しました。

②サービス向上のため勤労者の知識向上やスキルアップ等を図る自主事業の実施

- ▶大阪労働大学講座（再掲）
- ▶労働保険・社会保険実務講座（再掲）
- ▶労働法基礎講座（再掲）
- ▶職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者やメンタルヘルスに関心のある府民を対象に、職場におけるメンタルヘルスケアの具体的な取り組みを紹介し、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実施日	令和元年11月14日（木） 午後1時30分～午後4時50分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
テーマ	事業所におけるメンタルヘルス対策の現状と未来
受講者数	105人

▶労働講座 特別講座

働き方改革の展望、イノベーション人材の育成について、独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）主催、（一財）大阪労働協会共催で働き方改革に係る労働講座特別講座を開催しました。2回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止になりました。

①テーマ	現代日本の法政策～働き方改革と未来の展望～
実施日	令和2年2月3日（月） 午後2時～午後4時
実施場所	エル・おおさか南館10階 南1023
受講者数	59人

②テーマ	働き方改革の次に来るもの 〈開催中止〉
実施予定日	令和2年3月2日（月） 午後2時～午後4時
実施予定場所	エル・おおさか本館6階 大会議室

▶おおさかメンタルヘルスケア研究所 開所10周年記念講演会

当協会の主催事業である「職場のメンタルヘルス実践研修セミナー」の実施にあたり、協力をいただいている一般社団法人おおさかメンタルヘルスケア研究所が、開所10周年を迎え、研究所を移転し事業内容を刷新するため、メンタルヘルスに携わる企業の人事労務担当者や府民等を対象にメンタルヘルス支援をテーマに共催で記念講演会を開催しました。

実施日	令和元年6月8日（土） 午後1時～午後4時30分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
受講者数	64人

▶内定者向け即戦力化セミナー

ビジネスゲームを活用した内定者向けの即戦力セミナーをOSAKA しごとフィールドが行う企業まるごと大相談会の中で開催しました。

実施日 令和2年2月14日（金） 午後4時～午後6時
実施場所 エル・おおさか本館6階 604号室
受講者数 5人

▶仕事で使えるパソコン講座

パソコン初心者向けにビジネスに役立つ表計算の基礎をマスターする講座を開催しました。

実施日 令和2年1月28日（火）、29日（水）、30日（木）
午前9時30分～午前12時
実施場所 エル・おおさか南館4階 会議室
受講者数 15人

▶資産形成セミナー 「ライフプランに基づいた資産運用の考え方」

金融・経済情勢が変化する中、金融に関する知識と判断力を身に付けるため、ライフプラン・マネープランの考え方や金融商品等の基礎を学ぶセミナーを日本証券業協会の協力により開催しました。

実施日 令和元年11月15日（金）、22日（金）、29日（金）
午後6時30分～午後8時30分
実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 延べ128人

▶わくわく子どもフェスティバル（㈱コングレとの共催事業）

共同事業体「エル・プロジェクト」の構成員である㈱コングレと当協会が共催で、親子で参加できる「科学実験ショー」と「スライムで思いっきり遊ぼう!!」の2部構成のイベントを開催しました。

実施日 令和元年12月8日（日） 午後1時30分～午後3時45分
実施場所 エル・おおさか本館 9階ギャラリー1 同10階松の間
参加者数 子供30人、保護者26人

▶親子で楽しむ！ ハロウィンパーティ（サントリーパブリシティサービス㈱との協力事業）

大阪市中央公会堂などの指定管理者として施設の運営を行っているサントリーパブリシティサービス㈱の協力を得て、親子で楽しめるハロウィンのかぼちゃの帽子づくりやフェイスペイント、ストリートオルガンによるコンサートのイベントを開催しました。

実施日 令和元年10月22日（火・祝） 午後1時～午後3時
実施場所 エル・おおさか本館10階 集会室
参加人数 47人

▶勤労者をはじめ広く府民の文化教養に資するための事業を実施しました。

・ランチたいむコンサート

エル・おおさかの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、エル・おおさかをより身近な施設と感じてもらうことを目的に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実施日 毎月第3月曜日
（7月、9月は祝日のため翌日の火曜日に開催、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）

- 午後0時10分～午後0時50分
- 実施場所 エル・おおさか本館10階 梅寿の間
(令和2年1月、2月はプチ・エルで開催)
- 観賞者数 延べ767人(平成31年4月～令和2年2月)
- ・プチ・エル ナイトコンサート(再掲)
 - ・スタインウェイピアノ試弾会(再掲)
 - ・特別講演会
 評論家や文化人、作家等著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上に資することを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で特別講演会を開催しました。

第1回	実施日	令和元年8月28日(水)	午後6時30分～午後8時
	実施場所	エル・おおさか本館	エル・シアター
	テーマ	心がフッと軽くなる瞬間の心理学!	
	講師	■■■■	
	参加者数	326人	

 第2回 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止し、令和2年度に延期

	実施予定日	令和2年3月25日(水)	午後6時30分～午後8時
	実施予定場所	エル・おおさか南館5階	南ホール
	テーマ	読むこと、生きること～『私の本棚』をめぐって～	
	講師	■■■■	
 - ・歴史セミナー
 勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代を題材にして毎月1回開催しました。なお、第6回(3月19日(木)実施予定)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止し、令和2年度に延期しました。

前期	テーマ	巨大古墳の世紀～古墳時代の技術の開花～
	実施日	平成31年4月18日(木)～令和元年9月26日(木)
		毎月1回 午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館6階 大会議室
	受講者数	延べ655人
後期	テーマ	平城京とその時代～都を結ぶ道・人・寺～
	実施日	令和元年10月23日(水)～令和2年2月20日(木)
		毎月1回 午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館6階 大会議室
	受講者数	延べ339人(10月23日～2月20日の5回分)
 - ・文化芸術サロン
 勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、古代文化等興味深いテーマを取り上げて開催しました。

第1回	テーマ	シルクロードの歴史と文化
	実施日	令和元年8月2日(金)、23日(金)、30日(金)
		午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館5階 視聴覚室
	受講者数	延べ262人
第2回	テーマ	萬葉集 最終ステージへ
	実施日	令和元年11月29日(金)、12月6日(金)、13日(金)
		午後2時～午後3時30分
	実施場所	11月29日(金)、12月6日(金) エル・おおさか本

館 5階視聴覚室

12月13日（金）エル・おおさか本館7階 709号室

受講者数 延べ139人

・なにわ美術展

大阪府内の勤労者や府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を、（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

実施予定日 令和2年3月6日（金）～3月11日（水）

実施予定場所 エル・おおさか本館9階ギャラリー、同10階集会室

③サービス向上を図るための委員会等の設置

▶外部評価委員会の設置及び開催（再掲）

▶共同事業体「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置

次の委員会等を設置して利用者サービスの向上を図りました。

・事業進捗・検証委員会

提案した項目の進捗の確認と満足度を得ているか検証を行いました。

開催日 8月を除く毎月第2金曜日

・共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会

個人情報の適正な取扱いについて検証するため個人情報の取扱いに関する覚書に基づき、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会を開催しました。

開催日 令和元年10月2日（水）

・スタッフ情報交換会議

各部門の担当者が日ごろ気づいた事柄や利用者の意見要望等の意見交換を行い、利用者サービスの向上を図りました。

開催日 8月を除く毎月第2木曜日

④サービス向上を図るためのその他の取組み

▶利用者満足度調査の実施

エル・おおさか利用者を対象に年1回（2～3月）満足度調査を実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果はホームページに掲載しました。

▶月極めコインロッカーの設置

本館1階にコインロッカーを設置し、定期的な利用者の利便を図りました。

▶コピーサービスの実施

本館1階に設置したワークステーションにモノクロ・カラーコピーやパソコンからの出力も可能な複合機を設置し、利用者の利便を図りました。

▶「+voice」（意見箱）の設置

公の施設部分に意見箱を設置して、利用者の意見、要望等をいただき、回答を検討作成し、ホームページへの掲載と館内に掲出するとともに、施設運営に反映しました。

▶館内巡回および定期点検の実施

スタッフが毎日館内巡回を行い、現状を把握するとともに定期点検を毎月実施し、利用者に快適な利用環境を提供しました。

▶会員制自習室の運営（再掲）

(4) 管理運営業務を実施する具体的な取組み

①災害時・緊急時に備えた取組み

- ▶南海トラフ地震など災害時に発生すると思われる利用者の帰宅困難者が滞在できるように170名が3日分の非常用寝具、非常用食料品、保存水等の備蓄を行いました。(令和元年7月19日に保存期間が終了する保存水、アルファ化米、パン、ミニクラッカー、ウェットティッシュを更新しました。)
- ▶防災訓練(年2回)、エレベーター閉じ込め対応、不審者、急病人対応等の訓練を実施しました。

・防災訓練	実施日	令和元年 8月20日(火)
	実施日	令和元年10月29日(火)
・夜間を想定した消防訓練	実施日	令和2年 3月10日(火)
・エレベーター閉じ込め救出訓練	実施日	令和元年10月21日(月)
・不審者等対応訓練	実施日	令和元年12月20日(金)
・急病人対応訓練	実施日	令和元年12月20日(金)
- ▶災害時に備えて救助担架、ハンドメガホン、ヘルメット、多機能ライト、救助工具等の非常用品を配備しました。
- ▶エル・おおさかから約100mの位置にある大林ファシリティーズ(株)が運営する大阪ビル群管理センターの遠隔監視システムを導入し、24時間・365日、常時遠隔監視を行い、夜間の異常発生時にも対応しました。

②研修の実施

- ▶スタッフ全員を対象とした研修を実施しました。

・接遇マナー研修	実施日	令和元年11月15日(金)、27日(水)
		午前9時45分～午後0時15分
	テーマ	接遇ホスピタリティ研修
	参加者	35人
- ・個人情報保護研修(予定)(再掲)
- ・高齢者・障がい者対応研修(再掲)
- ・人権研修(再掲)

(5) 施設改修工事

利用者の増加とサービスの向上を図るため、「利便性の向上」「美観性の向上」「安全性の向上」「緊急性」の観点から施設・設備の改修工事を実施しました。(一部再掲)

- ▶利便性の向上
 - ・本館10階男女洋式トイレブース備品の設置
 - ・本館トイレ用便座除菌クリーナー剤の購入
 - ・本館5階会議室扉の未実施部分の防音化
 - ・料金改定に係る施設予約システムの改修
 - ・本館5階視聴覚室外気冷房設備設置工事
 - ・Wi-Fiの設置に関する工事(本館5～7階、9階、10階、ホール舞台、南館5、7、10階)
- ▶美観性の向上
 - ・本館東面外部看板撤去工事
 - ・本館外部看板改修工事

- ・本館1階エレベーター廻りサイン改修工事
- ・本館10階トイレ改修工事
- ・本館外部柱LED照明取替工事

▶安全性の向上

- ・本館地下駐車場防犯カメラの設置
- ・電動防火シャッターの点検調整及び電動開閉器の移設
- ・本館消防設備点検による消防設備改修工事（前期分）
- ・本館消防設備点検による消防設備改修工事（後期分）
- ・本館エル・シアター大道具搬入用ホイスの補修
- ・本館用鍵管理システム更新工事
- ・本館5階視聴覚室の段差部分改修工事
- ・本館飲料水消毒用薬剤の購入
- ・非常用自家発電機用A重油の購入

▶緊急性

- ・本館冷却水総合水処理剤の購入
- ・本館空調機用フィルタの取替
- ・本館プチ・エル ドアクローザー取替
- ・本館排水管洗浄剤の購入
- ・本館10階厨房排水管更新工事
- ・本館空調機用Vベルトの購入
- ・本館エル・シアター専用駐車場出口土間陥没補修工事
- ・本館6階男子トイレ小便器排水管洗管工事
- ・本館6階トイレ天井内污水管漏れ修理工事
- ・本館9階西側男女トイレ和便フラッシュバルブ取替
- ・本館エル・シアタートイレ手洗自動水栓用リチウム電池の購入
- ・本館10階宴会場「竹の間」錠前取替
- ・本館10階空調ドレン系統排水管洗管工事
- ・本館1階男子トイレ洋便器漏水修理工事
- ・3人掛けベンチ更新

（6）施設の利用状況

【平成31年4月～令和2年3月】

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	11,399 件	588,979 人	176,079,640 円
エル・シアター	217 件	175,801 人	48,578,790 円
プチ・エル	312 件	24,480 人	6,297,570 円
ギャラリー	297 日	—	7,135,725 円
集会室	264 件	17,560 人	5,915,550 円
計	12,489 件	806,820 人	244,007,275 円
駐車場	25,062 台	—	26,454,600 円
収入合計	—	—	270,461,875 円

(7) 大阪府への納付金額

効率的な施設運営、経費節減に努め、大阪府へは提案どおり 3,710 万円を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会の自粛要請が大阪府から発出され、その要請に基づき利用が中止された利用のキャンセル料の補填が大阪府からありましたので、納付金額は 1,829 万 5,180 円減額され、1,880 万 4,820 円を納付しました。

(8) 社会貢献等への取組み

①社会貢献・地域活動等

▶献血活動への協力

日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、令和元年 11 月 6 日（水）に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。（献血者：14 人）

- ▶令和元年10月の台風19号による災害の支援のため「令和元年台風19号災害義援金募金箱」をエル・おおさか本館 1 階に令和元年11月 1 日（金）から11月30日（土）まで設置しました。（義援金額：7,563円）

NHK歳末たすけあい運動が終了した令和元年12月26日（木）から令和2年3月31日（火）までの間も引き続き募金箱を設置し、義援金を募りました。（義援金額：5,974円）

- ▶大阪府共同募金会と連携してNHK歳末たすけあい運動に協力し、令和元年12月 1 日（日）から 12 月 25 日（水）までエル・おおさか本館 1 階に募金箱を設置しました。（募金額：4,839 円）

- ▶エル・おおさかが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「北大江たそがれコンサート」に協力し、練習場所等を提供しました。

- ▶共同事業体「エル・プロジェクト」の職員が中心となり、エル・おおさか周辺の清掃活動を毎月第 3 金曜日に実施しました。

- ▶地域貢献の一環として、エル・おおさか近隣の自治会やマンションの管理組合が利用する際には、共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金の 20%を負担しました。（再掲）

- ▶知的障がい者の清掃業務について、本人の希望を尊重し、令和元年度も知的障がい者を 2 名継続雇用しました。

②府民・NPO 等との協働事業

- ▶NPO 法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティアの説明会場、打ち合わせ会場として会議室を共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金を負担し、提供しました。

- ▶（一社）大阪労働者福祉協議会と連携して、特別講演会、ランチたいむコンサート、プチ・エルナイトコンサートを開催しました。（再掲）

▶一時保育の実施

子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プロジェクト」が開催した「歴史セミナー」や「文化芸術サロン」に参加しやすいようにチラシで広報し、社会福祉法人吹田みどり福祉会と連携して、無料の一時保育を広報しました。

- ▶エコキャップ運動への協力

NP0 法人エコキャップ推進協議会が実施するエコキャップ運動に協力し、ペットボトルのキャップの収集ボックスを設置しました。

③環境問題への取り組み

- ▶適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル、ゴミの再資源化、自動車利用の抑制等の取組を行い、共同事業体「エル・プロジェクト」のうち、(一財)大阪労働協会と(株)コングレは「関西エコオフィス宣言」事業所に登録しました。
- ▶本館各階ロビー、トイレ及び集会室の照明をLED化し、年間消費電力量及びCO2排出量の削減に努めました。
- ▶雨天時には、エコの観点から傘袋を廃止し、しずくを落とせる装置を本館、南館の出入口に設置しました。
- ▶施設内でのゴミを減らすため、ゴミ箱を撤去して、利用者にゴミの持ち帰りをお願いし、ゴミの減量化、分別を継続実施しました。
- ▶大阪市からは「令和元年度ごみ減量優良建築物」の決定通知を受けました。

2 労働センター南館運営事業

労働センター（エル・おおさか）南館については、借地権信託事業が終了し、平成26年4月から、労働協会が建物所有者として運営を行い、令和元年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への着実な残債の返済に努めました。

平成28年度に策定した「長期修繕計画」については、策定から3年が経過したため修繕項目や実施時期の見直しを行いました。建築、設備に係る改修工事を着実に実施することで、入居者に安全で快適な執務環境の提供と建物の資産価値の維持向上を図っています。

1. 入居率 95.81%（令和2年3月1日現在）

2. 「南館三者懇談会」の開催

〔第1回〕	開催日	令和元年9月24日（火）
	場 所	エル・おおさか本館5階 504号室
	議 題	①令和元年9月1日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の見直しについて ③平成30年度決算報告について ④令和元年度執行見込について ⑤意見交換
〔第2回〕	開催日	令和2年2月19日（水）
	場 所	エル・おおさか南館12階 打合せ室
	議 題	①令和2年2月19日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について ③令和元年度収支見込及び返済額について ④意見交換

3 人材開発事業

令和元年度の人材開発事業では、委託事業 17 件を受託し、このうち 10 件は国及び地方自治体から受託しました。他 7 件は各種機関並びに大学等民間から受託しました。また、自主事業として 2 事業を事業化し、そのひとつは平成 30 年度から実施している商工会連合会等への講師派遣事業を実施しました。さらに、新たな自主事業として、これまでのノウハウを活かし、合同企業説明会『OSAKA ジョブフェア』を企画し実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止しました。

事業の傾向としては、平成 30 年度と同様に求職者側の売り手市場による中小企業の人材確保の課題改善が必要であることから、セミナーやマッチングメニューは増加傾向にありました。特に大阪府事業では、企業の課題ごとに、初歩的な課題から高度な課題までを段階的に学べる『HR セミナール』のほか、企業の課題を可視化する『企業診断』など新たなコンテンツを開発しました。また、通常業務が忙しい企業にとって、1 日で複数のセミナーが受講できる『企業まるごと大相談会』を開催するなど新しいチャレンジを行いました。

求職者支援では、企業経営に資する人材の集客のため、比較的能力が高く、応募段階にある活動層に向けたメニュー開発を中心に実施しました。また、OSAKA しごとフィールド運営委託事業では、求職者に対して個別対応を行う「チューター」を配置し、ガイダンスやヒアリングを強化することで、一人ひとりに合わせた支援を開始しました。堺市事業や京都府事業では求職者集客を強化し、登録者の確保を例年以上に取り組みました。

ただ、年度終盤は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から各事業のセミナーや交流会、合同企業説明会等が中止となりました。また、景気の先行きが不安定になる中で、企業の求人取り下げなど影響が出ており、労働市場に変化が出ています。

事業目標と実績については、概ねの項目で達成しており、委託元から高い評価を得ています。

(1) さかいJOBステーション事業運営業務

(堺市受託事業)

堺市が設置している「さかい JOB ステーション」及び「JOB ステーション南サテライト」の各拠点の管理運営、並びに「JOB カフェ SAKAI」、「女性しごとプラザ」及び「企業人材マッチング支援プラザ」の各事業の運営を行いました。39 歳までの若者と全年齢の女性を対象に総合的に就業を支援すること、及び人材確保が困難な市内中小企業等へのマッチング機会を併せて行い、堺市内における雇用の安定化を進めました。

【決算額：94,040,792 円】（事業期間：平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
来訪者数	11,000 人	10,909 人 (99%)
新規登録者数	2,200 人	3,118 人 (142%)
就職決定者数	1,600 人	1,632 人 (102%)
新規登録企業数	50 社	76 社 (152%)
求人企業情報件数	500 件	526 件 (105%)
合同企業説明・面接会数	1 回	1 回 (100%)
企業交流会数	67 回	72 回 (107%)

(2) OSAKAしごとフィールド運営委託事業

(大阪府受託事業)

大阪府では、平成25年9月に総合就業支援施設「OSAKA しごとフィールド」をエル・おおさかに設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者等の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできました。この間、労働市場の大幅な改善がみられましたが、それでもなお、就職を希望するにもかかわらず就職につながらない、もしくは就職しても継続して就業することができない求職者の存在など、様々な課題が顕在化してきました。また、人口減少社会において中小企業における人材不足は深刻な状況にあり、特に「製造」「運輸」「建設」業界の人材確保は喫緊の課題となっています。

そこで、社会環境の変化や中小企業のニーズを的確に把握し新たな政策課題に対応する支援策を研究するとともに、先駆的に課題解決に取組み、セミナーの開発や広報の企画、公共職業訓練の実施、データベースシステムの開発・運用等を駆使した新しい OSAKA しごとフィールドを目指し平成29年度から NPO 法人 HELLOlife と共同企業体を構成し運営しました。令和元年度の実施メニューは以下のとおりです。

A OSAKA しごとフィールド運営業務

- ・受付 ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・イベント実施 ・調査
- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

B 公民協働人材確保推進事業（求職者向け就職支援）

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報
- ・チューター業務、キャリアチャレンジプログラム、マッチング業務、定着業務、イベント開催

C 公共職業訓練事業

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務・職業訓練講師 ・職業訓練広報

【決算額：42,939,642 円】（事業期間：平成29年5月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
新規登録者数	14,000 人	14,071 人 (101%)
就職決定者数	8,000 人	6,887 人 (86%)
B 事業新規登録者数	3,000 人	3,898 人 (130%)
B 事業就職決定者数	1,200 人	1,268 人 (106%)
良質安定就職者数	520 人	533 人 (103%)
誘導セミナー開催数	58 回	55 回 (95%)
誘導イベント開催数	2 回	3 回 (150%)
導入セミナー開催数	36 回	31 回 (86%)
コーチングセミナー開催数	48 回	44 回 (92%)
実践セミナー開催数	72 回	62 回 (86%)
マッチング開催数	48 回	43 回 (90%)
定着支援開催数	30 回	24 回 (80%)
有償 OJT 参加者数	80 人	5 人 (6%)
職業訓練開催数	4 回	2 回 (50%)
職業訓練参加者数	20 人	3 人 (15%)

(3) 京都ジョブパーク事業「移住人材確保支援業務」

(京都府受託事業)

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流を促進しました。また、京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図りました。

具体的には、カウンセリングやセミナーなどUIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援及び人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や求める人物像の発信等による人材確保支援を行いました。加えて、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用し支援を実施しました。

【決算額：36,737,624 円】（事業期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
新規登録者数	2,700 人	2,829 人 (105%)
就職内定者数	1,200 人	1,411 人 (118%)
正社員内定者数	350 人	331 人 (95%)
UIJ ターンナビ訪問者数	200,000 人	244,900 人 (122%)
UIJ ターンナビ新規登録者数	600 人	351 人 (59%)
求人掲載数	400 件	306 件 (77%)
移住交流体験者数	40 人	39 人 (98%)
大学内 UIJ 就職相談会開催数	20 回	21 回 (105%)
京都府無料職業紹介内定数	10 人	15 人 (150%)
田舎暮らしの連携イベント数	5 回	8 回 (160%)

(4) 近畿経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業

(近畿経済産業局受託事業)

生産年齢人口が減少する中、人手不足は恒常化する構造的課題となっています。地域や中小企業等の成長・発展には、付加価値の拡大や労働生産性を向上させる多様な人材が不可欠であり、近畿地域においては全国同様に若者の首都圏への流出も問題となっています。さらに、関西の大学卒業後の学生を如何に関西に引き留めるかが、大きな課題でもあります。平成 30 年度当事業で行った調査（レポート「学生に響く中小企業の魅力発信」）においても、中小企業の情報や魅力が学生に届いていないこと、企業と学生との間に意識の隔たりがあることが判明しています。

そこで、本事業では、地域の中小企業等が直面する人的課題の解決を支援しました。地域の中小企業等の人材不足対応力を強化し、地域内外の女性・シニア・外国人といった多様な人材の発掘・確保・定着の一括支援、中小企業等の多様な人材活用の支援を、近畿経済産業局が所管する地域（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に実施しました。

【決算額：89,580,000 円】（事業期間：令和元年 5 月～令和 2 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業満足度	80%	88% (110%)
シンポジウム参加企業数	80 社	98 社 (123%)
人材確保セミナー参加企業数	620 社	778 社 (125%)
定着研修参加企業数	140 社	279 社 (199%)
コンサルティング参加企業数	30 社	29 社 (97%)
コンサルティング課題解決率	80%	75% (94%)
地域版マッチング会参加企業数	120 社	169 社 (141%)
広域版マッチング会参加企業数	120 社	128 社 (107%)

(5) 生涯現役地域連携事業「職域拡大実践事業」業務

(厚生労働省⇒大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会再委託事業)

国においては、少子・高齢化が進展する中、健康で意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向けた取組みを進めており、特に 65 歳以降の高齢者の雇用・就業機会の確保が重要な課題であるため、その解決を目指して実施しました。大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会では、高齢者の経験や知識、優れたコミュニケーション能力等を活かし、高齢者の新たな職域拡大につながる就業機会を開拓するとともに、双方のマッチングにより高齢者の就職に結びつけるための事業を実施しました。

【決算額：8,929,470 円】(事業期間：平成31 年4 月～令和2 年3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
就職決定者数	65 人	76 人 (117%)
企業開拓社数	40 社	86 社 (215%)
セミナー参加者数	450 人	452 人 (100%)
セミナー開催数	20 回	15 回 (75%)
シニア人材育成講習参加者数	45 人	48 人 (107%)

(6) 学生地域就職推進業務

(大阪府受託事業)

大阪府から東京圏への人材流出の抑制と、企業の人材確保による大阪経済の活性化を実現するため、府内大学生と府内企業との接点を創出する学生地域就職推進業務を実施しました。大学低学年次から積極的に学生と企業との接点を創出し、府内企業への就職意欲を向上させマッチングにつなげることで、府内中堅・中小企業の人材確保を図るとともに、採用後の若手社員の交流の場を設けることで府内企業への定着を促進しました。これらの業務により、若年層における東京圏への人材流出の抑制を図りました。

【決算額：28,187,964 円】(事業期間：平成31 年4 月～令和2 年3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業開拓数	150 社	245 社 (163%)
参加学生数	1,830 人	1,930 人 (105%)
連携大学メニュー参加企業数	50 社	82 社 (164%)
合同企業説明会参加企業数	120 社	131 社 (109%)
逆オファー交流会参加企業数	20 社	24 社 (120%)
求人情報掲載企業数	150 社	155 社 (103%)
異業種交流会開催数	3 回	3 回 (100%)

(7) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業

(大阪府受託事業)

大阪府の労働市場は大幅に改善しています。企業が人材を確保するには、求職者にとって魅力ある企業となり、かつそれを求職者に適切な方法で訴えかけることが重要となっています。特に人材が不足している分野（製造・運輸・建設）においては、「労働条件が厳しい」といったネガティブなイメージが根強いいため、就業可能な女性や若者が多数存在するにも関わらず、企業の人材確保ができていないといった状況にあります。このため、人材不足の状態にある「製造」「運輸」「建設」の3分野とインバウンド関連を含めた37分野を中心に、業界のイメージアップや、働く職場環境の整備等を進め、企業の人材確保の推進を実施しました。また、平成28年度から開始した企業主導型保育推進業務についても本事業内で実施し、待機児童解消に取り組みました。

【決算額：88,185,664円】（事業期間：令和元年5月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
人材確保ができた企業数	300 社	334 社 (111%)
求人情報掲載社数	70 社	84 社 (120%)
人材確保相談対応社数	3,500 社	1,276 社 (36%)
企業診断受診企業数	1,000 社	1,083 社 (108%)
人材確保セミナー開催数	52 回	53 回 (102%)
合同企業説明会開催数	4 回	4 回 (100%)
戦略的採用セミナー参加企業数	215 社	331 社 (154%)
長期定着セミナー参加企業数	150 社	223 社 (149%)
しごと力セミナー参加企業数	100 社	108 社 (108%)
タレントシェアリング成功件数	10 件	10 件 (100%)
企業主導型保育セミナー開催数	12 回	11 回 (92%)

(8) グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援業務**(大阪府受託事業)**

大阪府人口ビジョンによると、大阪の生産年齢人口は、2010年の565万人から30年後の2040年には27.6%減少し、409万人になるといわれています。すでに府内企業の人材不足は深刻な状況にあり、特に優秀な人材の確保に苦戦しています。それに加えて、インバウンドの需要拡大や海外展開等、グローバル化への対応にも迫られています。また、5年後には大阪で「2025大阪・関西万博」が開催されるに伴い、優秀な人材のニーズはますます高まってくるものと予想されます。

そこで、府内企業と外国人留学生の相互理解を促進し、マッチング支援をするとともに、採用後も長く活躍できるよう、フォローアップ体制の構築も含め企業の育成に取り組みました。

【決算額：1,232,407円】（事業期間：平成31年4月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
留学生採用セミナー参加企業数	240 社	367 社 (153%)
留学生セミナー開催数	3 回	3 回 (100%)
留学生の就職者数	90 人	102 人 (113%)

(9) 女性活躍促進企業の認証及びアウトリーチ型企業啓発・支援事業業務**(大阪市受託事業)**

大阪市では平成26年度から、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業等を、一定の基準に則り認証し、当該の企業等が社会的に認知されることでその取組が広く普及することを目的として、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証を実施しています。また、平成29年度から中小企業における女性活躍推進の取組を促進・支援するため、取組初期段階の意欲的な中小企業をチャレンジ企業として認証することとし、制度の拡充を行いました。

本事業では、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」及び「チャレンジ企業」の認証・支援、認証企業を対象とした先進事例の研究、企業間情報交換等の機会や、新たに女性活躍の取組が進んでいない中小企業等に対して女性活躍の重要性の理解を促進しました。アウトリーチによる啓発、中小企業等の管理者層や企業で働く方を対象とした両立支援講座を実施しました。

【決算額：16,721,119円】（事業期間：令和元年7月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
アウトリーチによる啓発企業数	1,000 社	1,902 社 (190%)
取組支援企業数	100 社	143 社 (143%)
チャレンジ企業認証件数	60 件	15 件 (25%)
一つ星、二つ星認証件数	70 件	76 件 (109%)
アンケート満足度	75%	95% (127%)

(10) 企業主導型保育事業利用促進セミナー事業**(大阪府受託事業)**

地域の企業主導型保育事業者を一堂に集め、就業希望の子育て世代に企業主導型保育施設の利用を促進するセミナーを開催（年3回実施）することで、企業主導型保育事業の一般府民への周知を図り、定員の充足率向上のための支援をすることを目的に実施しました。

【決算額：985,160円】（事業期間：令和元年10月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	3回	3回 (100%)

(11) 四天王寺大学インターンシップ事業**(学校法人四天王寺学園受託事業)**

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行うメニューを新入生募集の際に掲げていますが、キャリアセンターの人員だけでは対応できないことから、大学に代わり100名のインターンシップ先の確保及び1週間程度の管理業務を実施しました。また、事前・事後研修を行い、インターンシップを有効なものとなるよう実施しました。

【決算額：5,384,826円】（事業期間：平成31年4月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
インターンシップ参加人数	100人	98人 (98%)

(12) 関西電気管理技術者協会5年毎研修**(一般社団法人関西電気管理技術者協会受託事業)**

関西電気管理技術者協会では、会員約900名が在籍しており、その中から毎年180名の研修を実施しています。平成29年度から5年間の研修を当協会が受託し、カリキュラム開発、基調講演、グループディスカッション運営等を実施しました。なお、令和元年度は、2回の研修の内、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

【決算額：209,000円】（事業期間：平成29年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	2回	1回 (50%)

(13) 大阪管工機材商業協同組合ポータルサイト制作事業**(大阪管工機材商業協同組合受託事業)**

大阪管工機材商業協同組合とは、これまでビジネスマッチングイベントにおいて学生のインターンシップを実施するなど、会員企業の人材確保不足を解消するため各種メニューを実施してきました。

令和元年度は、組合員企業の人材確保のための情報ポータルサイトの制作を行うとともに、デザイン、仕様、運用マニュアルに関して作成を行いました。

【決算額：2,372,757 円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

(14) 近畿大学カウンセラー派遣事業

(近畿大学受託事業)

近年大学など教育現場において発達障害の学生や発達障害の可能性のある学生が増加しています。それらの学生は、就職支援段階において適正な支援が必要となっていますが、専門的な人材が不足しているのが実情となっています。

近畿大学でもこの課題は年々高まっていることから、令和元年度より、当協会からカウンセラーを派遣し、学生の相談対応など就職支援を行うとともに、OSAKA しごとフィールドやさかい JOB ステーションで開催されるマッチング会やセミナーとも連携を図りました。

【決算額：945,270 円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

(15) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業

(株式会社池田泉州銀行受託事業)

池田泉州銀行では平成21年から融資先企業における人材確保支援を開始し、行政と連携しこれまで多数の合同企業説明会を開催してきました。近年、企業では研究開発や製品開発など専門性の高い人材を求める傾向にあり、工業高等専門学校の学生に対する合同企業説明会ニーズが高まっていることから、平成28年度から池田泉州銀行が主催者となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。令和元年度は参加企業数枠を拡大し実施しました。

【決算額：7,205,000 円】（事業期間：令和元年10月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
参加者企業数	120 社	132 社 (110%)

(16) 京都一体的実施事業

(京都労働局⇒オムロンエキスパートリンク(株)再委託事業)

主に京都府外の都市部に在住する求職者に対して、京都府内の企業の魅力を発信し、マッチングの促進を目的に、大阪市中心部のエル・おおさかにおいて合同企業説明会を開催しました。

【決算額：2,435,141 円】（事業期間：令和元年11月～令和2年2月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
参加者企業数	10 社	10 社 (100%)
参加者数	30 人	41 人 (137%)

(17) 大阪府委託訓練事業（しごと力養成）

（大阪府⇒近畿中小企業溶接事業協同組合再委託事業）

近畿中小企業溶接事業協同組合が受託する大阪府委託訓練事業（しごと力養成＋キャリアスタート実践科 建設コース・製造コース）に係る導入研修の講師業務及びカウンセリング業務を実施しました。

【決算額：300,000円】（事業期間：令和元年6月～令和元年12月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
開催コース数	2コース	2コース (100%)

(18) 講師派遣事業

（自主事業）

人材開発部の職員が、商工会議所や大学等から講演の依頼を受けセミナーを実施します。
令和元年度は、商工会連合会と泉佐野商工会議所の企業向けセミナーを実施しました。

【決算額：172,600円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
講演回数	2回	2回 (100%)

(19) OSAKAジョブフェア開催事業

（自主事業）

中小企業の人材確保と学生・若年求職者にとって有効なマッチング機会となり、多数の関係機関が協力するイベントとして、平成24年12月に第1回目のOSAKAジョブフェアを開催しました。これまで大阪府や近畿経済産業局からの委託事業において計9回開催し、1,200社以上14,000人が参加する人気イベントとして確立されています。

令和元年度は、協会主催の初めての合同企業説明会(OSAKAジョブフェア)を令和2年3月6日(金)にハービスホールで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月27日(木)に中止を決定しました。

【決算額（既執行済み額）：8,642,628円】（事業期間：令和元年12月～令和2年3月）

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差是正と、府内の中小企業で働く勤労者福祉の向上を図るため、各市町村共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした大阪府事業所福祉共済事業を実施しました。

(1) 福利厚生事業

加入市共済会と意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、テーマパークや宿泊施設利用、展覧会の鑑賞補助等の事業を実施しています。

①福利厚生事業部会の開催

令和2年3月18日（水）

②加入者数（令和2年3月1日現在）

加入市共済会	18 市共済会（19 市）
事業所数	4,435 事業所
会員数	37,202 人

③利用補助事業利用者数

スポーツ施設	10,478 人
健康管理	3,197 人
宿泊施設	1,222 人

（2）調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行っています。

①運営協議会の開催

第 1 回	令和元年6月7日（金）
第 2 回	令和2年3月18日（水）

②加入者数（令和2年3月1日現在）

加入市共済会	22 市共済会（23 市）
事業所数	5,987 事業所
会員数	57,156 人

Ⅲ 協会運営事業

1 総括的事項

（1）理事会の開催

第1回理事会

と き	令和元年6月10日（月）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告に関する件
	第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告に関する件
	第3号議案 令和元年度追加事業計画及び補正予算に関する件
	第4号議案 定時評議員会に提出する理事候補者に関する件
	第5号議案 令和元年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き	令和元年6月25日（火）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 理事長の選定に関する件
	第2号議案 専務理事の選定に関する件
	第3号議案 役員の報酬に関する件
	第4号議案 事務局長の任命の承認に関する件

第3回理事会（定款第35条（決議の省略）の規定に基づき開催）

提 案 日	令和元年11月7日（木）
議 案	理事選任に係る評議員会への議案の提出について
同 意 日	令和元年11月15日（金）

第4回理事会（定款第35条（決議の省略）の規定に基づき開催）

提 案 日	令和2年1月31日（金）
議 案	監事選任に係る評議員会への議案の提出について
同 意 日	令和2年2月6日（木）

第5回理事会

と き	令和2年3月25日（水）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第2号議案 令和元年度事業計画及び当初予算に関する件
報告事項	労働センター南館事業の近況について

（2）評議員会の開催

第1回評議員会

と き	令和元年6月25日（火）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告に関する件 第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告に関する件 第3号議案 理事の選任に関する件
報告事項（1）	第4期大阪府立労働センター指定管理者の選定結果について
報告事項（2）	労働センター南館事業の近況について
報告事項（3）	令和元年度事業計画及び収支予算について

第2回評議員会（定款第18条（決議の省略）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催）

提 案 日	令和元年11月19日（火）
議 案	理事の選任に関する件について
決 議 日	令和元年11月25日（月）

※本評議員会で ■■■■■ 理事の後任として ■■■■■ 氏（日本労働組合総連合会大阪府連合会大阪市地域協議会事務局長）が理事に選任。

第3回評議員会（定款第18条（決議の省略）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催）

提 案 日	令和2年2月12日（水）
議 案	監事の選任に関する件について
決 議 日	令和2年2月28日（金）

※本評議員会で ■■■■■ 監事の後任として ■■■■■ 氏（弁護士）が監事に選任。

（3）監事の監査

定款第24条第1項の規定に基づき、平成30年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き	令和元年6月3日（月）
と ころ	エル・おおさか南館7階 南75号室

(4) 中間監査の実施

令和元年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き 令和2年1月22日（水）
と ころ エル・おおさか南館7階 南71号室

(5) 協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に結びました。

11回開催（8月を除き毎月開催）

(6) 個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を開催しました。

第1回 令和元年7月4日（木）
第2回 令和2年2月18日（火）

(7) 衛生委員会の開催

職員の安全及び健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を平成31年4月25日に開催しました。

毎月第4木曜日には、産業医による健康相談を実施するとともに、衛生委員会だよりを作成し、健康に関する情報を職員に周知しました。また、ストレスチェックを令和元年9月に実施するとともに、平成30年度に引き続きインフルエンザ予防接種の補助（一人当たり2,000円を上限）を行いました。（衛生委員会だよりは、令和元年度2回発行（7月、11月号））

(8) 職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実を目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。また健康と活力ある職場環境づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。（一部再掲）

- ・人権研修
実施日 令和元年10月8日（火）、9日（水）
午後2時～午後3時30分
テーマ 在日外国人の人権
- ・接遇マナー研修
実施日 令和元年11月15日（金）、27日（水）
午前9時45分～午前12時15分
テーマ 接遇ホスピタリティ研修
- ・管理監督者向けメンタルヘルス研修
実施日 令和2年1月30日（木）
テーマ 職場におけるメンタル不調者への対応
～受診のきっかけ作りから職場復帰支援まで～
- ・個人情報保護研修
実施日 令和2年2月25日（火）、28日（金）
午後1時30分～午後3時
テーマ 組織に求められる個人情報保護対策

※個人情報保護研修の後に、特定個人情報の取扱いに関する留意点等を職員に再度周知しました。特定個人情報の取扱業務については、平成31年4月17日（水）に情報漏

洩を想定した事故対策訓練を実施するとともに、令和元年7月17日（水）に特定個人情報等取扱規程に基づき、内部監査を実施しました。

（9）その他の取組み

①女性職員の活躍を推進する取組み

- ・平成31年3月19日（火）に大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者に登録されたので、「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」など、男性も女性もいきいきと働くことのできる取組みを進めました。
- ・当協会の女性職員の活躍を推進する取組みが認められ、令和元年12月26日（木）に厚生労働省えるぼし制度の2段階目に認定されました。また、令和2年1月10日（金）に大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証制度の2段階目に、令和2年2月1日（土）に大阪府男女いきいきプラス事業者認証制度に認証されました。

②ノー残業デーの実施

職員の健康管理とワークライフバランスの充実、生産性の向上等を目的に、令和元年12月から、毎週水曜日をノー残業デーとしました。

2 労使関係団体、NPO 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

労働者の地位、人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、（一社）大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、ランチたいむコンサート、特別講演会を共催で実施しました。

また、「NPO 法人HELLOlife」と共同事業体を構成して OSAKA しごとフィールドの運営を行うほか、南館2階で保育所「キッズもみの木」を運営する「社会福祉法人吹田みどり福祉会」と連携し、セミナー等開催時に一時保育を広報しました。

さらに、NPO 法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティア説明会等の会場を提供しました。

3 エル・おおさか入居団体連絡会の開催

令和2年3月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止しました。

令和 2 年度事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、これまで大阪労働大学講座等の公益目的支出計画事業である労働関係講座のほか、大阪府立労働センター（以下「エル・おおさか」）の指定管理業務、労働センター南館運営事業や勤労者福祉の事業所福祉共済事業、若年者等の就職支援を行う人材開発事業などの円滑な運営に努めてきました。

令和2年度の指定管理業務については、エル・おおさか指定管理者「共同事業体エル・プロジェクト」として第4期（令和元年度～令和5年度）の2年目の業務を実施してまいりました。令和2年1月に国内で新型コロナウイルス感染症が確認され、この感染症が拡大化し、国の緊急事態宣言等による大阪府の方針のもと、エル・おおさかの休館、定員の2分の1の利用、利用時間短縮などの感染拡大防止対策を行ってきましたが、コロナ禍の終息が不透明な中、利用料金収入は激減し、厳しい施設運営を求められ、事業の縮小を行いつつ指定管理業務を実施しました。

エル・おおさか南館については、当協会の財産として引き続き安定的な経営を図るために入居者の確保をはじめ、現入居者の要望を反映した施設の整備、維持管理費等の節減などに努めました。

また、人材開発事業では、エル・おおさか内にある総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」の運営を一体的に行い、関係機関との相互の連携を図ることで求職者への就業支援と中小企業の人材確保支援を効果的に行ってきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、経済活動が停滞し企業の倒産、廃業などにより失業者が増加傾向にあることから、新型コロナウイルス感染症感染拡大により失業した求職者を対象に求人情報をホームページ上で発信したり、求職者を新たに雇い入れ一定期間継続して雇用した法人、個人事業主に対して雇用に要する費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」の支給にかかる審査支払い業務も実施しました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、労使関係の安定、安心して働ける就業環境の実現、さらに、働き方、雇用形態の多様化に対応した労務管理を実現するために大阪府と共催で開催しました。また、後期講座においては「全世代型社会保障改革」を取り上げて、その課題・問題点を検証するシンポジウムを開催しました。

【主 催】	大阪府、（一財）大阪労働協会
【後 援】	日本労働組合総連合会大阪府連合会、（一社）大阪労働者福祉協議会、 大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会
【前期講座】	実施期間 令和2年6月9日（火）～ 令和2年9月3日（木） 午後6時30分～午後8時30分 講座回数 20回 実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール他 受講者数 個人55人、団体1 終了者数 50人（14回以上出席者） 聴講者数 延べ89人
【後期講座】	実施期間 令和2年10月14日（水）～ 令和3年1月29日（金）

午後6時30分～午後8時30分

※令和3年1月14日（木）から2月28日（日）までの間は、全ての府有施設の開館時間が短縮され午後8時までとなったため、1月14日（木）と1月29日（金）については午後8時で終了しました。

講座回数	21回（21回目（令和3年1月29日（金））に労働福祉分野のシンポジウム「全世代型社会保障改革を徹底検証する」を開催）
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール他
受講者数	個人52人、団体1
終了者数	36人（14回以上出席者）
聴講者数	延べ26人
前後期を通した修了者数	30人
【運営会議】開催日	令和3年1月18日（月） 午後2時～午後3時30分
開催場所	エル・おおさか南館7階 南72
議 題	（1）令和3年度大阪労働大学講座カリキュラム（案）について （2）その他

2 労働保険・社会保険実務講座

新しく人事労務を担当する人や興味のある人を対象に、労働保険・社会保険制度や入社から退職までの各種手続き、主な労働保険・社会保険の給付等を基礎から学ぶ講座を2回（各2日間）実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府、大阪府社会保険労務士会

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 I】

実 施 日 令和2年8月6日（木）、7日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 50人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 II】

実 施 日 令和2年11月19日（木）、20日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 50人

3 労働法基礎講座

企業人事労務担当者や労働組合員を対象に、労働法の基礎の習得を目的に労働契約、就業規則、労働時間、賃金、懲戒・解雇、労働災害、非正規雇用等をテーマに、（各4日間）実施しました。

【主 催】 (一財)大阪労働協会

【後 援】 大阪府

【労働法基礎講座Ⅰ】

実 施 日 令和2年9月14日(月)、29日(火)、10月7日(水)、13日(火)
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ177人

【労働法基礎講座Ⅱ】

実 施 日 令和3年2月2日(火)、10日(水)、18日(木)、3月3日(水)
の4日間

午後6時30分～午後8時

※緊急事態宣言による府有施設の開館時間短縮に伴い、午後8時で終了。

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ161人

Ⅱ その他事業

1 エル・おおさかの指定管理業務

当協会と大林ファシリティーズ(株)及び(株)コングレを構成員とする共同事業体「エル・プロジェクト」は、第4期のエル・おおさか指定管理者として令和2年度も大阪府立労働センター条例に定める「労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する」という設置目的に基づき、エル・おおさかの管理運営業務を行ってきました。

エル・おおさかの円滑な指定管理業務を実施するために、エル・プロジェクト運営委員会規則に則り、令和2年6月29日(月)及び令和3年3月31日(水)に運営委員会を開催し、令和元年度の事業報告や決算、令和3年度の事業計画、予算等について審議を行いました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い令和2年4月7日(火)に発出された緊急事態宣言による大阪府の方針に従い、令和2年4月10日(金)から5月17日(日)までの間、全館臨時休館となり、南ホールを除く会議室と駐車場は5月18日(月)から再開したものの、南ホール、エル・シアター(大ホール)、プチ・エル、ギャラリー、宴会場(集会室)は5月31日(日)まで休館となりました。その後も会議室等では収容人員の半分以上の参加人数とするという制限がかかったり、利用者による利用の自粛が相次いだため、令和2年度の利用料金収入は大幅な減収となりました。

こうしたコロナ禍の中、事業計画の見直しをして、施設の運営においては計画修繕を見送りましたが、公平・平等性は担保し、利用の維持のため、広報と利用者本位の利用者サービス、施設の維持に努めるとともに、社会貢献、地域活動を実施しました。一方自主事業においては、募集定員の見直し、事業の縮小を行いました。

その後、会議室、駐車場には一時利用回復の兆しがありましたが、この感染症の新規陽性率の上昇及び医療体制がひっ迫したことにより、令和3年1月12日(火)に再度発出された緊急事態宣言による大阪府の方針に基づき、1月14日(木)から2月28日(日)までの間の開館時間を1時間短縮し午後8時までとするとともに会議室等の収容定員についても半分以上での利用という制

限がかかったこともあり、再び利用の自粛が増加しました。

これらの緊急事態宣言下において、大阪府から新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用のキャンセルの場合は利用者からキャンセル料を徴収しない旨の依頼があり、一定の条件に基づきそのキャンセル料相当額を大阪府が負担することが示されました。これにより初めの緊急事態宣言下では約 5070 万円のキャンセル料相当額の補填を、二度目の緊急事態宣言下においてもキャンセル料相当額約 160 万円の補填を大阪府に求めました。

(1) 公平・平等な施設運営

- ▶ 利用受付開始日の申込み受付は抽選により行い、電話、FAX、電子メールは、来館者の抽選後に先着順で実施しました。
- ▶ エル・おおさかのホームページで、集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。
- ▶ 利用申込みに偽りがあると認められるときには、適切な利用申込みをしていただくよう注意喚起をしました。
- ▶ 目的利用にあたっては、目的利用を偽った料金逃れを防止するため、申込者が署名した目的利用確認書を提出していただきました。
- ▶ 利用者の公平・平等利用のため指定管理業務に従事しているスタッフを対象にした専門家による研修を実施しました。

・人権研修	実施日	令和2年12月16日（水）、17日（木） 午後2時～午後3時30分
	テーマ	公正採用のルールから学ぶ基本的人権
	参加者	43人
・高齢者・障がい者対応研修	実施日	令和2年11月24日（火）、25日（水） 午後2時～午後3時
	テーマ	心のバリアフリー
	参加者	38人
・個人情報保護研修	実施日	令和3年2月2日（火）、3日（水） 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策と日常業務における個人情報の取り扱いについて考える
	参加者	86人
・接客マナー研修	実施日	令和2年10月19日（月）、11月2日（月） 午後1時30分～午後4時
	テーマ	エル・おおさか 接客ホスピタリティ研修
	参加者	37人

- ▶ 高齢者・障がい者等が施設を利用しやすくする次の取組みを行いました。
 - ・視覚障がい者の方にも利用しやすくするため、ホームページについては音声読み上げソフトを導入しました。
 - ・（公社）大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の紹介を行うとともに、案内チラシを受付に配架しました。
 - ・聴力障がい者の方に対して筆談ボード（kakipon）を利用して筆談による受付を行いました。
 - ・館内に車椅子を5台備え、常に整備して必要とされる方に貸出を行いました。
 - ・障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト

ト」が負担するサービスを実施しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績 11件、14,112円)

- ・指定管理業務に従事するスタッフは、「サービス介助基礎検定」の資格を取得し、資格保有者として適切に対応しました。
- ▶ 利用者によるモニタリングの実施
 - ・リピーターの会議室利用者2団体、エル・シアター（大ホール）2団体、プチ・エル、ギャラリー各1団体にモニターになっていただき、施設運営についての改善点や要望事項等についてモニタリングを実施しました。
- ▶ 外部有識者及び利用者で構成する外部評価委員会を開催し、エル・おおさかの管理運営に関する意見・要望をいただき、この意見・要望は施設運営に反映しました。

開催日 令和2年9月3日（木）

（2） 利用の増加を図る取組み

①広報・PR活動

- ▶ エル・おおさかのロゴを使用した広報・PR
令和元年度に制定したエル・おおさかのロゴをチラシや印刷物等に使用し、エル・おおさかのPRを行いました。
- ▶ ホームページの随時更新
令和2年1月にリニューアルしたホームページについては、さまざまなニーズに対応するように随時修正・更新して利用しやすくしました。
 - ・エル・シアター（大ホール）や主要な会議室を360度見渡せる動画等を引き続き掲載しました。
 - ・視覚障がい者の方のために、音声読み上げソフトで対応しました。（再掲）
 - ・室料、貸出備品等の利用料金の合計が確認できる簡易見積りシステムを提供しました。
- ▶ 認知度向上に繋げるためにカラー化した「エルちゃん☆通信」による広報
令和元年10月号からカラー化した毎月発行の広報紙「エルちゃん☆通信」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による休館のため5月号は休刊しましたが、各種講座やセミナーをはじめ、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリーの催しを掲載し、大阪府内の団体や関係機関、公共施設に配架しました。
- ▶ 積極的な情報発信、広いエリアへの広報の実施
 - ・(株)コングレが運営する施設へエル・おおさかのチラシ等の配架を行い、利用促進を図りました。
 - ・「第2回わくわく子どもフェスティバル」を(株)コングレと共催で開催し、エル・おおさかの認知度を高めました。

実施日 令和2年11月3日（火・祝） 午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか本館10階 竹・梅・寿の間

対象者 小学生と保護者

参加者数 子ども18人、保護者13人

参加費 一家族あたり500円

- ・エル・おおさか公式Facebookに各種事業やイベント等の情報を提供しました。
- ・メールマガジンを毎月登録者に配信し各種事業等を提供しました。（登録者数:959人）
- ・ホームページで集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。（再掲）

- ・「会議室ドットコム」にエル・おおさかを登録掲載し、エル・おおさかが安くて便利で使いやすい施設であることをアピールしました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日閲覧実績：2,883件)

- ・京阪「天満橋駅」総合案内のタッチ式デジタルサイネージにエル・おおさかを掲出し、「天満橋駅」からエル・おおさかまでのアクセス表示を行うとともに、施設のPRを行いました。

②ソフト面の取り組み

- ▶ エル・おおさか近隣のコインパーキングでは「平日」と「土日祝」の駐車場料金に差を設けていることから、エル・おおさかでも令和元年10月1日(火)から日曜日の最大料金を2,400円から1,500円に引き下げました。令和2年8月1日(土)からはコロナ禍で公共交通機関の利用を避け、自動車で移動するケースが増えていることなどから、土曜日・祝日の最大料金も日曜日と同じ1,500円に引き下げました。また、平日の最大料金を令和2年12月末まで期間限定で2,400円から2,000円に引き下げましたが、新型コロナウイルス感染症の新規陽性率の上昇等により令和3年3月31日(水)まで延長して利便を図りました。

- ▶ 新規利用者の開拓と利用者の確保

- ・プチ・エル利用者のポイント制度(メンバーズカード)を継続し、1区分の利用に1ポイントを付与して、5ポイントで平日午前練習利用相当額を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担して利用者に提供しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績：13件、122,200円)

- ・ギャラリー既利用者から新規利用者の紹介の場合、双方の利用者の利用料金を20%共同事業体「エル・プロジェクト」が負担する利用者紹介サービスを継続実施しました。

- ▶ 近隣の自治会・管理組合がエル・おおさかを利用するときは、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績 22件、51,736円)

- ▶ 集会室の利用増加を図るため、松の間の他に竹の間についても、令和2年12月から机、椅子を常設し、45名定員の会議室として供用を開始しました。また、この2室を一つの会議室にして利用できるようにレイアウトの変更をしました。
- ▶ イメージキャラクターの「エルちゃん」を配した卓上カレンダーやうちわの販促グッズを作成し、利用者へ配布し施設のPRを行い、令和2年12月には、近隣の会社等へ卓上カレンダーを持参し会議室等の利用を促す営業活動も実施しました。

(実績：250社(団体))

- ▶ コロナ禍の中、利用が見込める企業・団体へ施設のリーフレットの送付等

- ・大阪管工機材商業協同組合にリーフレットとうちわ等を持参して利用の依頼をしました。
- ・施設利用者に、非接触型体温計の貸し出し、会議室の演台に透明パーテーションの取付け、有線LAN回線設置を記載したDMを送付しました。
- ・ギャラリー利用者に対し、利用の後には礼状を送付し、次の利用の案内を行いました。

- ▶ 利用者増加を図るイベントの開催

- ・本館地下1階のレッスンスタジオ「プチ・エル」の周知と利用促進に繋げていくために後述のランチたいむコンサートと同様に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催でナイトコンサートを開催しました。

実施日 令和2年10月9日(金)

テーマ 心あたたまる、ヴァイオリンとピアノの調べ

鑑賞者数 35 人
参加費 500 円

- ・プチ・エルのスタインウェイピアノの試弾会を 10 組限定で開催しました。
本館地下 1 階レッスンスタジオ「プチ・エル」に設置しているスタインウェイ（D274）の試し弾きとして参加者を募り、これまでスタインウェイピアノを弾いたことがない方にその魅力を伝えるとともに、プチ・エルの周知を図ることを目的に実施しました。

実施日 令和 2 年 9 月 19 日（土）
参加費 50 分 1,000 円

- ▶ 夜間時間帯の利用向上のための取組みを行いました。

- ・会員制自習室サービスの提供

自習を希望する方を登録し、登録した会員に対して、共同事業体「エル・プロジェクト」が夜間の利用のない会議室を借上げ、自習室として無料提供しました。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 5 日（木）から 5 月 31 日（日）までサービスを中止しました。また、令和 3 年 1 月 14 日（木）から 2 月 28 日（日）まで府有施設の開館時間短縮に伴い、自習室を午後 7 時 45 分（通常は午後 8 時 30 分）までとしました。（令和 3 年 3 月 31 日現在登録者数：736 人）

- ・夜間利用者対象のポイントカードの導入

夜間利用者にポイントカードを発行して、1 区分の利用について 1 ポイントを付与し、10 ポイント貯まれば、次回の利用についてこれまでにポイントを付与した一番安い会議室の利用相当額を利用者に提供し、その利用料金は共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日実績：8 件、49,280 円）

- ・夜間ブレイクタイムサービスの実施

夜間利用者に対して、近隣の飲食店 2 店舗と提携して、当該飲食店の割引券を提供しました。（令和 2 年 10 月 12 日～令和 2 年 12 月末実績：2 件）

- ・会議室夜間利用の直前予約サービス

利用日の 3 日前以降の直前の利用申込みがあった場合には、利用料金の 20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日実績：12 件、13,840 円）

- ・障がい者支援事業所の夜間利用サービス（再掲）

障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の 20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

- ▶ 事業や施設の効率的、効果的な広報を行うため共同事業体「エル・プロジェクト」において「広報・PRに関する検討会」を開催しました。（8 月を除く毎月開催）

（3）サービスの向上を図るための取組み

①施設運営の取組み

- ▶ 利用申込の受付方法の多様化を図り、窓口、FAX だけでなく、申込書を PDF 化してメールによる利用受付を行いました。
- ▶ 会議室・プチ・エル利用の際の準備・後片付けの時間として、利用時間区分の 30 分前から鍵を貸し出すサービスと、後の利用に支障のない範囲で最大 15 分間を後片付けの時間として利用者に提供するサービスを引き続き実施しました。

- ▶ エル・シアター（大ホール）利用の際の、利用時間区分の前後に利用がない場合に1時間の延長を行えるようにして、より利用しやすい施設づくりを行いました。
- ▶ 集会室利用の際には、会議室や宴会場として利用するにあたり、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後1時間を利用者に提供しました。
- ▶ 利用等により施設見学ができない場合に、施設の写真等を取り込んだタブレット端末を活用して施設を把握していただきました。
- ▶ コロナ禍のなか、共用部に手指消毒用のアルコールを設置し、施設利用者には非接触型体温計を無料で貸し出し、演台を設置しているすべての会議室には演台用透明パーテーションの取付けを行い、安心して利用できる環境を提供しました。また、グループワークやグループディスカッション、面接での利用の時に使用できる会議机用のパーテーションは有料で貸し出しました。
- ▶ 毎月1日の利用受付開始日の抽選等の待ち時間に、ペットボトルのお茶やエルちゃんグッズを抽選参加者に提供しました。また、令和3年1月4日（月）の利用開始日の抽選時には福袋（マスク、使い捨てカイロ、除菌ウェットシート、お菓子、卓上カレンダー等）を利用者に提供しました。

②サービス向上のために実施する自主事業

- ▶ 勤労者の知識向上やスキルアップ等を図るために次の事業を実施しました。
 - ・大阪労働大学講座（再掲）
 - ・労働保険・社会保険実務講座（再掲）
 - ・労働法基礎講座（再掲）
 - ・職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者やメンタルヘルスに関心のある府民を対象に、コロナ禍におけるメンタルヘルスについて専門家の講義を受け、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実 施 日	令和2年10月15日（木） 午後1時30分～午後4時50分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
テ ー マ	コロナ禍のメンタルヘルス
受講者数	51人
受 講 料	1,000円
- ・トークイベント

新型コロナウイルス感染症拡大により採用状況や雇用情勢が一段と厳しくなる中で府民へエールを贈るトークイベントを人材開発部と連携して開催を予定していましたが、令和2年度の開催は中止しました。
- ・スキルアップセミナー

ジョブスキルを高める講座を、OSAKA しごとフィールドと連携して開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。
- ・資産形成セミナー「働く世代のためのマネー講座」

お金に関する知識と判断力を身につける基礎的な講座を大阪府金融広報委員会の協力により開催しました。

実 施 日	令和2年12月4日（金）、11日（金）、18日（金）
	午後6時30分～午後8時

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ89人

▶ 第2回わくわく子どもフェスティバル (株)コングレとの共催事業 (再掲)

▶ 勤労者をはじめ広く府民の教養の向上を図る事業

・なにわ美術展

大阪府内の勤労者や府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を、(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としました。

・ランチたいむコンサート

エル・おおさかの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、エル・おおさかをより身近な施設に感じてもらうことを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実施日 毎月第3月曜日

(9月は祝日の連休のため翌々日の水曜日に開催。4月、5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止によりエル・おおさかが臨時休館となったため開催中止)

午後0時10分～午後0時50分

実施場所 エル・おおさか本館10階 梅・寿の間

観賞者数 延べ501人(令和2年6月～令和3年3月)

・プチ・エル ナイトコンサート (再掲)

・スタインウェイピアノ試弾会 (再掲)

・特別講演会

評論家や文化人、作家等著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上に資することを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催する特別講演会を新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和元年度は中止し、令和2年度に延期開催しました。

実施日 令和2年11月6日(金)

午後6時30分～午後8時

実施場所 エル・おおさか本館 エル・シアター(大ホール)

テーマ 読むこと、生きること～『私の本棚』をめぐる～

講師 ■■■■■■

参加者 187人

・歴史セミナー

勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代や中世を題材にして開催しています。令和2年度は、令和元年度の3月実施分を中止した講座の延期分と、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、年間1期(10月～3月の6回実施)のみの開催としました。

【令和元年度延期講座】

実施日 令和2年9月7日(月)

午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

テーマ 平城京とその時代 ～都をむすぶ道・人・寺～

「シルクロードの終着点」
参加者 51 人

【今期講座】

テーマ 近畿弥生社会の創見 ～変貌する畿内の実像をさぐる～
実施日 令和2年10月13日（火）～令和3年3月22日（月）
毎月1回
午後2時～午後3時30分
実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室
受講者数 延べ333人

・文化芸術サロン

勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、文化の伝播や古典文学等興味深いテーマを取上げて開催し、施設の周知を図りました。

第1回 テーマ 古代日本と大陸の文化交流の変遷を学ぶ
実施日 令和2年9月1日（火）、15日（火）、30日（水）
午後2時～午後3時30分
実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
受講者数 延べ196人
第2回 講師の意向により延期。令和3年度に実施予定。
テーマ 萬葉集 名もなき人びとに思いを寄せて

③サービス向上を図るための委員会等の設置

- ▶ 外部評価委員会の設置及び開催（再掲）
- ▶ モニタリングの実施（再掲）
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置

次の委員会等を設置して利用者サービスの向上に努めました。

・事業進捗・検証委員会（毎月開催）

提案した項目の進捗の確認と満足度を得ているか検証を行いました。

開催日 8月を除く毎月第2金曜日

・共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会

- ・個人情報の適正な取扱いについて検証するため個人情報の取扱いに関する覚書に基づき、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会を開催し、全スタッフが問題意識を持って個人情報の適正管理に取り組むよう指導・監督を行いました。

開催日 令和2年10月27日（火）

- ・令和3年2月11日（木）に郵送での誤送付が判明し、その防止を図るため同委員会を開催しました。

開催日 令和3年2月25日（木）

・スタッフ情報交換会議

各部門の担当者が日ごろ気づいた事柄や利用者の意見要望等の意見交換を行い、利用者サービスの向上に努めました。

開催日 8月を除く毎月第2木曜日

④サービス向上を図るためのその他の取組み

- ▶ 利用者満足度調査の実施
エル・おおさか利用者を対象に年1回（2～3月）満足度調査を実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果についてはホームページに掲載しました。
- ▶ 月極めコインロッカーの設置
本館1階にコインロッカーを設置し、定期的な利用者の利便を図りました。
- ▶ 高機能コピー機の設置
本館1階にワークステーションを設け、カラーコピーやパソコンからの出力サービスも可能な高機能コピー機を設置し、利用者の利便を図りました。
- ▶ 「+v o i c e」（意見箱）の設置
意見箱を公の施設のフロアに設置して、施設利用者から寄せられた要望等については速やかに回答を検討作成し、ホームページへの掲載と館内に掲出するとともに、施設運営に反映しました。
- ▶ 館内巡回および定期点検の実施
スタッフが毎日館内巡回を行い、現状を把握するとともに定期点検を毎月実施し利用快適な利用環境を提供しました。
- ▶ 高齢者・障がい者対応研修の実施（再掲）
- ▶ 接遇マナー研修の実施（再掲）
- ▶ 会員制自習室の運営（再掲）

（４） 利用増加・サービス向上の取組みの検証等

- ▶ 会議室、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリー専用のチラシの送付後に、送付先の利用の有無を新規利用者アンケートで検証しました。
- ▶ 自主事業のセミナー等の開催後にアンケート調査を実施し、どの広報ツールが有効か検証しました。
- ▶ 各種キャンペーンの対象者にどの広報ツールが有効か聞き取り検証しました。
- ▶ 各施設の利用件数、利用料金収入額、利用率の推移の比較により利用傾向を把握しました。
- ▶ 各種研修の効果をアンケート等で検証しました。

（５） 施設管理運営業務を実施する具体的な取組み

①災害時・緊急時に備えた取組み

- ▶ 南海トラフ地震等災害時に発生すると思われる帰宅困難者等の受入拠点となるよう、170名が3日間滞在できるように非常用食料品、保存水、ウェットティッシュ等の備蓄を引き続き行いました。
- ▶ 利用申込書のFAX送信に誤送信がないよう十分注意を払っていますが、郵送によるご送付が令和3年2月11日（木）に発生したため、大阪府に報告するとともに該当の利用者にお詫びの文書を送付しました。（再掲）
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会での協議に基づき、FAX誤送信事故対応訓練と誤送付の発生と防止を図るため、令和3年2月25日（木）に同委員会を開催しました。（再掲）
- ▶ 郵送による誤送付の後、共同事業体「エル・プロジェクト」として「個人情報の適正管理に関する取扱要綱」を策定（施行：令和3年4月1日）し、これまで以上に個人情報の適正な管

理や取扱いに努めることにしました。

- ▶ 防災訓練（年2回）、夜間等非常時対応訓練、エレベーター閉じ込め対応、不審者・急病人対応等の訓練を実施しました。

・消防訓練	実施日	令和2年10月2日（金）
・防火・防災訓練	実施日	令和2年12月15日（火）
・エレベーター閉じ込め救出訓練	実施日	令和2年10月22日（木）
・不審者等対応訓練	実施日	令和2年12月4日（金）
・急病者対応訓練	実施日	令和2年12月4日（金）
・夜間を想定した消防訓練	実施日	令和3年3月2日（火）
- ▶ 災害時に備えて救助担架、ハンドメガホン、ヘルメット、多機能ライト、救助工具等の非常用物品を引き続き配備しました。

②効果的・効率的な修繕業務

- ▶ 大林ファシリティーズ(株)による施設の修繕計画の立案・作成
 - ・施設の現状を把握した上、「利便性の向上」「美観性の向上」「安全性の向上」「省エネルギー化」の観点に基づき、修繕項目をリストアップしました。

③防災・安全対策

- ▶ 大阪ビル群管理センターによる24時間365日のバックアップ
 - ・大林ファシリティーズ(株)が運営する大阪ビル群管理センターに遠隔監視システムを導入し、24時間・365日、常時遠隔監視を行いました。
 - ・エル・おおさかから約100mの位置にある同センターには24時間体制で設備技術員が常駐しており、夜間の異常発生時にも対応しました。

（6）施設改修工事

令和2年度の共同事業体「エル・プロジェクト」として実施する施設改修工事については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための休館等による利用の減少のため、計画修繕は次年度以降に先送りする等して、施設維持管理上緊急性を有するもの及び新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図るものを実施しました。

- ▶ 施設維持管理上緊急性を有するために実施した工事等
 - ・本館冷却水総合水処理剤の購入
 - ・本館空調機用フィルタの取替
 - ・本館3階男子トイレ洗面排水トラップ更新
 - ・本館E Vホール総合案内サイン変更
 - ・本館消防設備改修
 - ・本館連結送水管配管耐圧試験
 - ・本館トイレ用便座除菌クリーナーの購入
 - ・本館エル・シアター（大ホール）舞台床塗装
 - ・本館パーキングシステム出入口バー交換作業
 - ・AED電極交換用パッドの購入
 - ・本館駐車場案内版製作
 - ・本館飲料水消毒用薬品の購入
 - ・本館10階宴会場用スピーカーの更新
 - ・本館駐車場磁気駐車券の購入

- ・本館地下1階女子トイレ内装工事

▶ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために実施

- ・消毒用アルコールの購入
- ・フェイスシールドの購入
- ・ビニールカーテンの購入
- ・除菌用ウェットティッシュペーパーの購入
- ・非接触型体温計の購入
- ・トイレ用ペーパータオルの購入
- ・演台用パーテーションの購入
- ・会議机用パーテーションの購入

(7) 施設の利用状況

【令和2年4月～令和3年3月】

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	7,982 件	353,611 人	131,680,040 円
エル・シアター (大ホール)	78 件	51,704 人	14,817,700 円
プチ・エル	195 件	12,960 人	3,275,210 円
ギャラリー	115 日	—	3,324,390 円
集会室	128 件	8,860 人	4,940,660 円
計	8,498 件	427,135 人	158,038,000 円
駐車場	17,678 台	—	17,984,500 円
収入合計	—	—	176,022,500 円

(8) 大阪府への納付金額

コロナ禍の中、事業計画の見直しをして、施設の運営においては計画修繕を見送りましたが、公平・平等性は担保し、利用の維持のため、広報と利用者本位の利用者サービス、施設の維持に努め、自主事業においては募集定員を見直し事業の縮小を行い、指定管理者募集の応募時に提案した3,710万円を予定通り納付しました。

(9) 大阪府の補填

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い緊急事態宣言による大阪府の方針に従い、令和2年4月10日(金)から5月31日(日)まで全館臨時休館(南ホールを除く会議室と駐車場については、5月18日(月)から再開)や利用者による利用の自粛が相次ぎ、また1月14日(木)から2月28日(日)までの間の開館時間を1時間短縮し午後8時までとするとともに会議室等の収容定員についても半分以上での利用となったため、再び利用の自粛が増加しました。これらの緊急事態宣言下において、大阪府から新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用のキャンセルの場合は利用者からキャンセル料を徴収しない旨の依頼があり、一定の条件に基づきそのキャンセル料相当額を大阪府が負担することが示されました。これにより二度にわたる緊急事態宣言下でのキャンセル料相当額を大阪府から補填していただく協議を行い、5232万6366円を請求しました。

(10) 府の施策・社会貢献等への取組みについて

①行政の福祉化への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体の障害者雇用率を達成しました。
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体は就職困難者を雇用しました。

②社会貢献・地域活動

▶ 献血活動への協力

日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、令和2年11月4日（水）に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。（献血者：9名）

- ▶ 大阪府共同募金会と連携してNHK 歳末たすけあい等に協力し、令和2年12月1日（火）から同年12月25日（金）までエル・おおさか本館1階に募金箱を設置しました。（募金額：6,107円）
- ▶ エル・おおさかが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「たそがれコンサート」の広報に協力しました。これまで練習場所等を提供していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため屋外コンサートが中止となり、練習場所等の提供は行いませんでした。
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」の職員が中心となり、エル・おおさか周辺の清掃活動を毎月実施しています。（4・5月中止）
- ▶ 地域貢献の一環として、エル・おおさか近隣の自治会やマンションの管理組合が利用する際には、共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金の20%を負担しました。（再掲）

③府民・NPO等との協働事業

- ▶ 子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プロジェクト」が開催する特別講演会や歴史セミナー、文化芸術サロンに参加しやすいよう無料で一時保育を行えるように、NPO法人女性と子育て支援グループ・pokkapokaと連携しました。
- ▶ エコキャップ運動への参画
NPO法人エコキャップ推進協議会が実施するエコキャップ運動に参画しました。

④環境問題への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」のうち、（一財）大阪労働協会と㈱コングレは「関西エコオフィス宣言」事業所に登録しており、適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル、ゴミの再資源化等の取組みを実施しました。
- ▶ 照明のLED化を進め、年間消費電力量及びCO2排出量の削減に努めました。
- ▶ 雨天時には、エコの観点から傘袋を廃止し、しずくを落とせる装置を本館、南館の出入口に引き続き設置しました。
- ▶ 施設内でのゴミを減らすため、ゴミ箱を撤去して、利用者にゴミの持ち帰りをお願いし、ゴミの減量化、分別を継続実施し、大阪市から令和2年度のごみ減量優良建築物の決定通知を受けました。
なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため令和2年5月18日（月）からトイレにペーパータオルを設置しゴミ箱を置きましたが、令和2年12月末をもって設置を終了しました。

2 労働センター南館運営事業

労働センター（エル・おおさか）南館については、借地権信託事業が終了し、平成 26 年 4 月から、労働協会が建物所有者として運営を行い、令和 2 年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への残債の着実な返済に努めました。

また、平成 28 年度に策定し、令和元年度に修繕項目や実施時期の見直しを行った「長期修繕計画」については、令和 2 年度も、建築、設備に係る改修工事を着実に実施し、入居者に安全で快適な執務環境の提供と建物の資産価値の維持向上を図りました。

1. 入居率 98.45%（令和 3 年 3 月 31 日現在）
2. 「南館三者懇談会」の開催
 - [第 1 回] 開催日 令和 2 年 9 月 24 日（木）
場 所 エル・おおさか本館 5 階 研修室 3
議 題 ①令和 2 年 9 月 1 日現在の入居状況について
②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について
③令和元年度決算報告について
④令和 2 年度執行見込について
⑤意見交換
 - [第 2 回] 開催日 令和 3 年 2 月 17 日（水）
場 所 エル・おおさか南館 10 階 南 101
議 題 ①令和 3 年 2 月 17 日現在の入居状況について
②労働センター南館長期修繕計画の実施状況について
③令和 2 年度収支見込及び返済額について
④意見交換

3 人材開発事業

令和 2 年度の人材開発事業では、委託事業 19 件を受託し、このうち 14 件は国及び地方自治体から受託しました。他 5 件は各種機関並びに大学等民間から受託しました。また自主事業として企業向けセミナーの講師派遣事業を実施しました。年度当初に計画していました 2 件の受託事業と、自主事業である合同企業説明会「OSAKA ジョブフェア」については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

事業の傾向は、平成 27 年以降売り手市場へ転じたことから人材不足の対策を目的とした事業が多く、企業の人材確保や多様な人材を企業の労働力とする事業が中心でした。しかし、令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大により、売り手市場は一変し、労働市場は大きく冷え込む状況となったことにより、事業開始以降に事業内容を変更するなどの影響を受けました。また、事業実施方法もこれまでのような対面式のリアル開催から、WEB システムを介した非対面式のリモート開催が主体となりました。

その結果、一定期間事業がストップし、その後も来場者の人数制限や広報手法の変更などにより目標達成に大きく影響を受けており、例年のような実績が上がらない結果となりました。しかしながら、通常の事業運営が困難になったことで、「非対面イベント」や「オンラインセミナー」などを効果的に実施する新たな WEB システムの導入や、アーカイブ化したセミナーを効果的に編集するなどを行ったことで、コンテンツの魅力化など、制限下でも効果的な事業運営を図りました。

(1) さかいJOBステーション事業運営業務**(堺市受託事業)**

堺市が設置している「さかいJOBステーション」及び「JOBステーション南サテライト」の各拠点の管理運営、並びに「JOBカフェSAKAI」、「女性しごとプラザ」及び「企業人材マッチング支援プラザ」の各事業の運営を行いました。39歳までの若者と全年齢の女性を対象に総合的に就業を支援すること、及び人材確保が困難な市内中小企業等へのマッチング機会を併せて行い、堺市内における雇用の安定化を進めました。

【決算額：令和2年度 95,811,672円】（事業期間：平成31年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
来訪者数	11,000人	6,847人（62%）
新規登録者数	2,200人	1,876人（85%）
就職決定者数	1,600人	1,550人（97%）
求人企業情報件数	500件	622件（124%）

(2) OSAKAしごとフィールド運営委託事業**(大阪府受託事業)**

大阪府では、平成25年9月に総合就業支援施設「OSAKAしごとフィールド」を設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者等の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできました。

平成29年度からNPO法人HELLOlifeと共同企業体を構成し運営しています。本事業は、令和2年6月から開始する「OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務」開始までのつなぎ事業として実施しました。

【決算額：7,280,285円】（事業期間：平成2年4月～令和2年5月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	1,900人	636人（33%）
セミナー開催数	45回	12回（27%）

(3) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業**(大阪府受託事業)**

大阪府の企業が人材を確保するには、求職者にとって魅力ある企業となり、かつそれを求職者に適切な方法で訴えかけることが重要となっています。人材不足の状態にある「製造」「運輸」「建設」の3分野とインバウンド関連を含めた37分野を中心に、業界のイメージアップや、働く職場環境の整備等をすすめる、企業の人材確保の推進を行いました。また、大阪府では平成28年度から開始

した企業主導型保育推進業務についても本事業内で実施しました。

本事業は、令和2年6月から開始する「OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務」開始までのつなぎ事業として実施しました。

【決算額：11,550,877円】（事業期間：令和2年4月～令和2年5月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
企業向けセミナー	4回	1回（25%）
企業主導型保育セミナー	1回	1回（100%）
企業診断受診企業数	500社	46社（9%）

（4）OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務

（大阪府受託事業）

総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と、府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」を設置し、一体的に運営を行い、関係機関と相互に連携して効果の最大化を図りつつ、常に研究、評価、修正を繰り返しながら、本業務を実施しました。なお、本業務は支援の内容に応じて国の財源を最大限活用することとしたため、財源の区分により以下のA～Fの委託業務に役割分担しています。事業運営にあたり、大阪労働協会が代表構成員として事業統括を行い、NPO法人HELLOlife、公益財団法人大阪産業局、株式会社パソナが構成員として事業運営を担いました。しかしながら、個々の支援を切り離して実施するのは困難であり、相互に連携・補完することにより、一体となって高い事業効果を発揮することをめざし運営しました。

A. 就職困難者就業支援業務

（事業期間：令和2年6月～令和5年3月）

- ・財 源：大阪府単独事業
- ・主な役割：就職困難者に対する就業支援と、企業の人材確保支援を行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife、株式会社パソナ

B. 大阪の成長実現に向けた公民協働人材確保推進業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクト事業（国庫8/10）
- ・主な役割：「製造関連」「運輸関連」「建設関連」「インバウンド関連」の37業種への正社員就職を実施しました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife、株式会社パソナ

C. 潜在求職者活躍支援プロジェクト業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫1/2）
- ・主な役割：潜在的な求職者の掘り起こしと、企業とのマッチングを行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife

D1. 中核人材雇用戦略デスク業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 1 / 2）
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行いました。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

D 2. 中核人材雇用戦略デスク体制拡充業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 10/10）
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行いました。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

E. 高校生地域就職促進業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 1 / 2）
- ・主な役割：中堅・中小企業の魅力を高校生に伝え、将来の人材確保に寄与しました。
- ・主な担当：大阪労働協会

F. 企業主導型保育事業推進業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：内閣府企業主導型保育推進事業（国庫 10/10）
- ・主な役割：「企業主導型保育施設」の設置を推進し、本施設を活用した人材の確保・定着の支援を行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会

【決算額：令和 2 年度 296,438,218 円】

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	14,000 人	10,340 人 （74%）
就職決定者数	8,000 人	3,186 人 （40%）
相談対応企業数	500 社	1,147 社 （229%）
人材確保企業数	300 社	252 社 （84%）

（5）京都ジョブパーク事業「移住人材確保支援業務」

（京都府受託事業）

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流及び京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図ることを目的とし、カウンセリングやセミナーなど UIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援を行いました。さらに、人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や、求める人物像の発信等による人材確保支援について、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用することで一元的にマッチングすることにより効果的な支援を行いました。

【決算額：29,286,309 円】（事業期間：令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	2,700 人	2,840 人（105%）
就職内定者数	1,200 人	1,240 人（103%）
移住支援金に基づく就職者数	30 人	1 人（3%）
京都府無料職業紹介内定数	30 人	13 人（43%）

（6）京都ジョブパーク事業「大学生・留学生支援業務」

（京都府受託事業）

京都ジョブパークにおける「学生就職センター」並びに「京の留学生支援センター」の運営を通じて、高校生、専修学校生、大学生、大学院生、短期大学生及び外国人留学生に対して、京都ジョブパークの基本方針等に基づき、キャリアカウンセリング及び京都ジョブパークの支援メニュー等を活用し、支援を行うことにより、一人ひとりの成長段階に応じたキャリア形成から就職の早期実現、定着の促進を図るため実施しました。

【決算額：11,490,842 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数（大学生等）	4,320 人	2,544 人（59%）
新規登録者数（外国人留学生）	840 人	841 人（100%）
就職内定者数（大学生等）	2,000 人	1,205 人（60%）
就職内定者数（外国人留学生）	400 人	294 人（74%）

（7）令和2年度 学生地域就職推進業務

（大阪府受託事業）

大阪府では、東京圏への人材流出の抑制と企業の人材確保による大阪経済の活性化を実現するため、府内大学生と府内企業との接点を創出する学生地域就職推進業務を実施しています。大学低学年次から積極的に学生と企業との接点を創出し、府内企業への就職意欲を向上させマッチングにつなげることで、府内中堅・中小企業の人材確保を図りました。また、内定者同士の交流の場を設けることで、府内企業への定着を支援しました。これらの業務により、若年層における東京圏への人材流出の抑制をめざしました。

【決算額：8,966,834 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
企業開拓数	150 社	106 社 （71%）
参加学生数	1,860 人	2,525 人（136%）

（８）令和２年度「近畿経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」
（近畿経済産業局→オムロンエクスパートリンク株式会社再委託事業）

昨今の少子高齢化を背景に、生産年齢人口が減少し、人手不足が深刻になりつつある中、地域や中小企業等の成長・発展には、付加価値の拡大や労働生産性を向上させる多様な人材が不可欠となっています。また、近畿地域においては全国同様に若者の首都圏への流出が問題となっており、関西の大学卒業後の学生をいかに関西に引き留めるかが、大きな課題です。平成 30 年度に当事業で行った調査においても、中小企業の情報や魅力が学生に届いていないこと、企業と学生との間に意識の隔たりがあることが判明しています。

本事業では、中小企業の経営課題に即し、多様な形態（兼業・副業等）で、多様な人材（就職氷河期世代、女性、高齢者等）を確保できるよう支援しました。

近畿経済産業局管内の福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県における中小企業等を対象とし、各地域の実情を十分に認識し、地域の中小企業等の経営強化に資する人材確保支援するため、近畿管内の 8 機関によるコンソーシアムを構成して事業運営を行いました。

【決算額：28,723,500 円】（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
地域版マッチング会	1 回	1 回（100%）
氷河期版マッチング会	1 回	1 回（100%）
広域版マッチング会	1 回	1 回（100%）
事業全体における企業満足度	80%	65% （81%）

（９）企業等の女性活躍推進に向けた認証及び啓発・支援事業（大阪市受託事業）

大阪市では平成 26 年度から、法令の遵守に留まらず、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業等を一定の基準に則り認証し、当該の企業等が社会的に認知されることでその取組みが広く普及することを目的として、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証を実施しています。令和 2 年度も引き続き、中小企業等に対する女性活躍の重要性の理解を促すアウトリーチによる啓発、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」及び「チャレンジ企業」の認証・支援、認証企業を対象とした先進事例の紹介や企業間情報交換等の機会の提供、大学生等が女性活躍に対する関心を高めるための事業を実施しました。

【決算額：20,084,700 円】（事業期間：令和2年7月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
アウトリーチによる啓発企業数	1,500 社	1,596 社（106%）
取組支援企業数	150 社	220 社（147%）
一つ星認証・二つ星認証	80 社	82 社（103%）

(10) 令和2年度「地域中小企業人材確保支援等事業（中核人材確保支援能力向上事業）」

（中小企業庁受託事業）

生産年齢人口が減少する中、人手不足は恒常化する問題となっています。中小企業では、経営者の高齢化に伴う事業承継の問題を含め、経営課題の上位に「人材の不足」が挙げられており、特に成長・拡大を志向する中小企業では、企業の持続的成長・発展や地域活性化に必要な付加価値創出を担う「中核人材」確保を戦略的に進めていくことが必要であり、経営支援機関等による経営支援～人材発掘支援～フォローアップのシームレスな支援が望まれています。

これまで、経営支援機関と人材支援機関の連携による中核人材確保スキームの実証を行ってきたところであり、こうした取組みがより広域かつ大規模に、面的に広がることを目的として、地域において複数の経営支援機関等による「地域ネットワーク」を形成し、経営支援機関等が個別あるいは連携して、効率的かつ効果的に中小企業の経営課題の明確化から人材確保までの支援を行いました。

【決算額：18,999,156 円】（事業期間：令和2年9月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
地域ネットワーク参画機関	14 機関	22 機関（157%）
支援人数	100 人	101 人（101%）

(11) OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務

G業務：コロナ禍における早期再就職支援業務

（大阪府受託事業）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により企業の廃業や倒産等、事業主都合で離職を余儀なくされる従業員を対象に、人材不足分野への労働移動に必要なスキルアップを行うとともに、離職により生活面に影響が出ている方等も含め、早期再就職が必要な求職者への支援を行いました。本事業は「OSAKAしごとフィールド」における総合就業支援業務の追加事業として実施しました。

【決算額：163,600,303 円】（事業期間：令和2年11月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援求職者数	3,000 人	3,464 人（115%）
求人開拓件数	3,000 件	3,372 件（112%）
オンラインセミナー	55 本	58 本（105%）
有償職場体験	100 人	102 人（102%）

(12) コロナ禍における民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策事業に係る求職者支援
及び支援金支給業務（大阪府受託事業）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により経済活動が停滞する中で、企業の倒産や廃業などにより失業者が増加する傾向にあります。失業期間の長期化を防ぐためにも、求職者の就職に向けた支援を行うとともに、企業における採用意欲の向上を図ることが必要となっています。

求職者の早期就職を実現するため、民間人材サービス事業者と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により失業した求職者を対象とした求人を取りまとめてホームページ上で発信するとともに、求職者を新たに雇い入れ、一定期間継続して雇用した法人又は個人事業主に対し、雇用に要する費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」を支給します。求職者への効果的な就職支援を行い、支援金の支給に係る事務処理を迅速かつ円滑に進めるため、求職者に対する求人情報を発信するホームページの構築や相談対応、支援金の支給に係る審査、支払い等に係る業務を実施しました。

【決算額：令和2年度 134,236,000 円】（事業期間：令和2年10月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援金支給数	5,000 件	581 件（12%）
ホームページ利用者数	20,000 人	334,987 人（1,675%）

(13) 企業主導型保育事業利用促進等業務（大阪府受託事業）

就業希望の子育て世代を対象に、企業主導型保育施設の利用促進及び周知を目的としたイベントを開催（年1回実施）し、他団体の実施する子育て世代が参加する研修、セミナー等において、周知活動を行うことによって、企業主導型保育事業の一般府民への周知を図り、定員の充足率向上のための支援をすることを目的として実施しました。イベントは令和3年2月6日（土）、7日（日）に実施しました。

【決算額：999,900 円】（事業期間：令和2年11月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
促進イベント	1 回	1 回（100%）
事業PR	5 回	5 回（100%）

(14) 府内企業の実態総合調査業務

(大阪府受託事業)

大阪府内企業の実態総合調査業務として、新型コロナウイルス感染症の影響把握及び今後の事業展開、コロナ後の企業活動の変容、課題について明らかにするための調査を実施しました。

【決算額：1,881,967 円】（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

(15) 四天王寺大学インターンシップ事業

(学校法人四天王寺学園受託事業)

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行う新メニューを新入生募集の際に掲げています。インターンシップ関連事業での実績を有する当協会が90名のインターンシップ先確保及び1週間程度の管理業務を行いました。また、事前・事後研修を行い、インターンシップを有効なものとなるよう実施しました。

【決算額：5,484,545 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
インターンシップ参加人数	90 人	89 人（99%）

(16) 関西電気管理技術者協会 5 年毎研修（一般社団法人関西電気管理技術者協会受託事業）

関西電気管理技術者協会では、会員約900名が在籍しており、その中から毎年180名の研修を実施しています。平成29年度から5年間を当協会に委託し、カリキュラム開発、基調講演、グループディスカッション運営等を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通常2開催のところ1開催とし、令和3年度に3開催を行うこととなりました。

【決算額：令和2年度 209,000 円】（事業期間：平成29年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
セミナー開催数	2 回	1 回（50%）

(17) 近畿大学カウンセラー派遣事業**(近畿大学受託事業)**

近年大学など教育現場において発達障害の学生や発達障害の可能性のある学生が増加しています。それらの学生は、就職支援段階において適正な支援が必要となっていますが、専門的な人材が不足しているのが実情となっています。

近畿大学でもこの課題は年々高まっていることから、令和元年度より引き続き当協会からカウンセラーを派遣し、学生の相談対応など就職支援を行うとともに、OSAKAしごとフィールドやさかいJOBステーションで開催されるマッチング会やセミナーとも連携を図りました。

【決算額：938,445 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

(18) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業**(大阪府立大学工業高等専門学校受託事業)**

平成28年度から池田泉州銀行が主催者となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。令和2年度は当協会が主催者となり、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、非対面によるWEB面談システムを活用したイベントを実施しました。

【決算額：5,390,000 円】（事業期間：令和2年10月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
参加企業数	80 社	98 社（123%）
参加学生数	250 人	269 人（108%）

(19) 武庫川女子大学就職準備キャリアガイダンス事業**(学校法人武庫川学院受託事業)**

武庫川女子大学ではキャリア事業の一環として外部より講師を招き、キャリアガイダンスを行っています。これまで学内で運営してきましたが、令和2年度は当協会に委託し実施しました。

【決算額：396,000 円】（事業期間：令和2年4月～令和2年8月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
ガイダンス実施数	1 回	1 回（100%）

(20) 講師派遣事業**(自主事業)**

人材開発部の職員が、商工会議所や大学等から講演依頼を受けセミナーを実施します。令和2年度は和歌山県中小企業団体中央会から企業向けセミナーの依頼を受け実施しました。

【決算額：47,240 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
講演回数	2回	1回（50%）

（21）京都一体的実施事業

主に京都府外に在住する者に対して、京都府内の企業の魅力を発信し、マッチングの促進を目的に大阪市中心部において企業説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

（22）大阪府委託訓練事業（しごと力養成）

近畿中小企業溶接事業協同組合が受託する大阪府委託訓練事業（しごと力養成＋キャリアスタート実践科建設コース・製造コース）に係る導入研修の講師業務及びカウンセリング業務を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

（23）OSAKAジョブフェア開催事業

中小企業の人材確保と学生・若年求職者にとって有効なマッチング機会となり、多数の関係機関が協力するイベントとして、平成24年12月に第1回目のOSAKAジョブフェアを開催しました。これまで大阪府や近畿経済産業局からの委託事業において計9回開催し、1,200社以上1万4000人が参加する人気イベントとして確立されています。

そこで、これまでのノウハウを活かし、自主事業として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差是正と、府内の中小企業で働く勤労者福祉の向上を図るため、各市町村共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした大阪府事業所福祉共済事業を実施しました。

（1）調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行っていました。

①運営協議会の開催

第 1 回 書面により開催

（提案：令和2年5月26日（火）、同意：令和2年6月10日（水））

第 2 回 令和3年3月10日（水）13:00～15:00

②加入者数（令和3年3月1日現在）

加入市共済会 22市共済会（23市）

事業所数 5,785事業所

会員数 56,297人

(2) 福利厚生事業

加入市共済会と意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、テーマパークや宿泊施設利用、展覧会の観賞補助等の事業を実施しました。

①福利厚生部会の開催

第 1 回 令和3年3月10日(水) 13:00～15:00

②加入者数(令和3年3月1日現在)

加入市共済会	18市共済会(19市)
事業所数	4,304事業所
会員数	36,466人

③利用補助事業利用者数(令和3年3月31日現在)

スポーツ施設	6,354人
健康管理	3,590人
宿泊施設	784人

Ⅲ 協会運営事業

1 総括的事項

(1) 理事会の開催

第1回理事会

と き	令和2年6月12日(金)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告に関する件 第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告に関する件 第3号議案 令和2年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第4号議案 令和2年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き	令和3年3月30日(火)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和2年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第2号議案 令和3年度事業計画及び当初予算に関する件 第3号議案 役員報酬に関する件 第4号議案 役員報酬の減額に関する件
報告事項(1)	労働センター南館事業の近況について
報告事項(2)	協会の組織変更について

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会

と き	令和2年6月29日(月)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告に関する件

第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告に関する件
報告事項(1) 労働センター南館事業の近況について
報告事項(2) 令和2年度事業計画及び収支予算について

第2回評議員会(定款第18条(決議の省略)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催)

提案日 令和2年7月31日(金)
議案 評議員の選任に関する件について
決議日 令和2年8月7日(金)

※本評議員会で、 評議員の後任として 氏(大阪府中小企業団体中央会専務理事)が評議員に選任。

(3) 監事の監査

定款第24条第1項の規定に基づき、令和元年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き 令和2年6月4日(木)
と ころ エル・おおさか南館7階 南71号室

(4) 中間監査の実施

令和2年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き 令和3年1月29日(金)
と ころ エル・おおさか南館7階 南75号室

(5) 協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を毎月開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に結びました。

(6) 個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を開催しました。

第1回 令和3年2月24日(水)

(7) 衛生委員会の開催

職員の安全及び健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を令和2年7月14日(火)に開催しました。

毎月1回、産業医による健康相談を実施するとともに、衛生委員会だよりを令和2年度は6回(6月、8月、9月、10月、11月、1月号)発行し、健康に関する情報を職員に周知しました。

また、ストレスチェックを令和2年9月に実施したほか、インフルエンザ予防接種の補助金(一人当たり上限額2,000円)を7人に給付しました。

(8) 職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実に目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。また健康と活力ある職場環境

づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。（一部再掲）

・人権研修	実施日	令和2年12月16日（水）、17日（木） 午後2時～午後3時30分
	テーマ	公正採用のルールから学ぶ基本的人権
・接遇マナー研修	実施日	令和2年10月19日（月）、11月2日（月） 午後1時30分～午後4時
	テーマ	エル・おおさか 接遇ホスピタリティ研修
・管理監督者向けメンタルヘルス研修	実施日	令和3年1月20日（水）、2月15日（月）
	テーマ	職場におけるメンタル不調者への対応 ～受診のきっかけ作りから職場復帰支援まで～
・個人情報保護研修	実施日	令和3年2月2日（火）、3日（水） 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策と日常業務における個人情報の取り扱いについて考える

（９）その他の取組み

①女性職員の活躍を推進する取組み

- ▶令和元年度に引き続き、令和2年度においても大阪府男女いきいきプラス事業者認証制度の認証及び厚生労働省えるぼし制度2段階目に認定されており、女性職員の活躍を推進する取組みを進めました。
- ・採用に占める女性の割合：82.4%（令和3年3月31日現在）

②ノー残業デーの実施

- ▶職員の健康管理とワークライフバランスの充実、生産性の向上等を目的に、昨年度に引き続き毎週水曜日をノー残業デーとしました。

2 労使関係団体、NP0 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

労働者の地位、人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、（一社）大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、ランチたいむコンサート、プチ・エルナイトコンサート、特別講演会を共催で実施しました。

また、「NP0 法人 HELL0life」と共同事業体を構成してOSAKAしごとフィールドの運営を行いました。

3 エル・おおさか入館団体連絡会の開催

エル・おおさか本館・南館の入館団体で構成する連絡会を令和2年12月15日（火）にエル・おおさか本館5階視聴覚室で開催し、教養型消防訓練、教養型防災訓練を実施するとともに、団体間で情報交換、情報共有を行いました。